
プログラム
Program

10月25日(木) 14:10～15:10

座長：太田 茂 (広島大院・医歯薬)

EL-1 研究をどう進めれば夢がかなうか？

鍋島 俊隆 名城大学薬学部地域医療薬局学講座

10月25日(木) 11:00～12:00

座長：鍛冶 利幸 (東京理大・薬)

PL-1 酸化ストレス制御と健康寿命

大澤 俊彦 愛知学院大学心身科学部健康栄養学科

10月26日(金) 10:50～11:50

座長：小嶋 仲夫 (名城大・薬)

PL-2 神経変性疾患の disease-modifying therapy への展望

祖父江 元 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科

10月25日(木) 15:10～15:40

座長：熊谷 嘉人 (筑波大院・人間総合科学)

IL-1 Significance of changes in the metabolomics of sulfur-containing substances during liver regeneration:
Acceleration of liver recovery after partial hepatectomy by betaine

Young Chul Kim
College of Pharmacy, Seoul National University

学術賞受賞講演

A 会場

10月26日(金) 14:00～14:30

座長：永沼 章 (東北大院・薬)

AL1-1 環境衛生学におけるメタロチオネインの生物学的意義に関する研究

佐藤 雅彦 愛知学院大・薬

部会賞・金原賞受賞講演

A 会場

10月26日(金) 14:30～14:50

座長：小林 弥生 (国立環境研)

AL2-1 化学形態分析に基づく動物体内におけるセレンの代謝解析

阿南 弥寿美 昭和薬大

10月26日(金) 14:50～15:10

座長：姫野 誠一郎 (徳島文理大・薬)

AL2-2 カドミウム輸送の分子機構に関する研究

藤代 瞳 徳島文理大・薬

10月25日(木) 8:50~10:50

環境因子による神経変性とその防御

座長：丸山 和佳子 (長寿医療研セ)

古武 弥一郎 (広島大院・医歯薬)

F1-1 加齢に伴う認知症の環境要因による制御の可能性

○丸山 和佳子
長寿医療研セ

F1-2 身体活動によるアルツハイマー病予防の可能性について

○島田 裕之, 鈴木 隆雄
長寿医療研セ

F1-3 食品由来成分による高齢者認知症に対する介入研究の試み

○永井 雅代¹, 直井 信², 丸山 和佳子¹
¹長寿医療研セ, ²愛知学院大・心身科学

F1-4 多価不飽和脂肪酸は酸化ストレスを介して神経変性疾患を惹起するか

○日坂 真輔¹, 林 佳美², 赤津 裕康³, 永井(社本) 雅代^{4,5},
加藤 陽二⁶, 能勢 充彦¹, 丸山 和佳子⁴, 大澤 俊彦⁷
¹名城大・薬, ²名古屋大院・生命農, ³福祉村病院,
⁴長寿医療研セ, ⁵JSPS RPD, ⁶兵庫県大・環境人間,
⁷愛知学院大・心身科学

F1-5 パーキンソン病関連化学物質による神経毒性メカニズム

○古武 弥一郎, 幸田 龍紀, 宮良 政嗣, 太田 茂
広島大院・医歯薬

F1-6 ネオニコチノイド・有機リン系農薬による子どもの脳発達への影響

○木村一黒田 純子, 小牟田 緑, 川野 仁
東京都医学総合研

10月25日(木) 15:50～17:30

食品の多彩な機能と健康・長寿

座長：水上 元 (名市大院・薬)

白井 智之 (名古屋市総合リハビリテーションセ)

F2-1 茶カテキンの生活習慣病予防作用と特定保健用食品開発

○角田 隆巳^{1,2}, 池田 郁男³

¹伊藤園・生産本部, ²福岡大・複合材料研, ³東北大院・農

F2-2 機能性食品クルクミンによる心不全治療

○森本 達也¹, 長谷川 浩二²

¹静岡県大・薬, ²京都医療セ

F2-3 前立腺癌のリスク要因としての食事と予防としての食事

○白井 智之

名古屋市総合リハビリテーションセ

F2-4 食品の健康表示の科学的根拠とその国際比較

○清水 俊雄

名古屋文理大・健康生活

10月26日(金) 9:00～10:40

化学物質と放射線による DNA 損傷と発がん

座長：川西 正祐 (鈴鹿医療大・薬)
中山 守雄 (長崎大院・医歯薬)

F3-1 化学発がん物質の閾値とリスク評価

○福島 昭治¹, 魏 民², 梯 アンナ², 鰐渕 英機²
¹中災防・日本バイオアッセイ研究セ, ²大阪市大・医

F3-2 DNA 損傷応答と放射線発がん分子メカニズム

○鈴木 啓司¹, 山下 俊一^{1,2}
¹長崎大院・医歯薬, ²福島医大

F3-3 繊維状ナノ粒子による発がん機構の解明

○豊國 伸哉
名古屋大院・医

F3-4 化学物質, 炎症および放射線による発がん と酸化・ニトロ化 DNA 損傷

○川西 正祐
鈴鹿医療大・薬

10月26日(金) 15:20～17:00

幹細胞 - 化学物質間作用による生命プログラムの制御

座長：高田 達之 (立命館大・薬)
岡本 誉士典 (名城大・薬)

F4-1 ホヤの発生学 (環境発生学のモデル動物としての可能性)

○藤原 滋樹¹, 笹倉 靖徳², 神田 美幸¹
¹高知大・理, ²筑波大・臨海

F4-2 胎児期エストロゲンシグナルと脳の性分化

○中西 剛, 永瀬 久光
岐阜薬大

F4-3 ビスフェノール A が ES 細胞の生殖細胞分化に与える影響

○高田 達之
立命館大・薬

F4-4 幹細胞に対する化学発がん物質の DNA 損傷作用と未分化状態への影響

○岡本 誉士典, 小嶋 仲夫
名城大・薬

10月25日(木) 8:50~10:50

優秀若手研究者賞および実行委員長賞候補者

P-021 メチル水銀の標的タンパク質の探索：S-水銀化を介した UCH-L1 の機能破綻とそれに伴う細胞内モノユビキチン量の変動○片山 祐子¹, 外山 喬士², 熊谷 嘉人^{1,3}(¹筑波大院・生命環境科学, ²東京理大・薬, ³筑波大・医学医療系)**P-022** カドミウム誘発性小胞体ストレス軽減因子としてのユビキチンリガーゼ FBXO6 の役割

○杜 可, 黄 基旭, 永沼 章

(東北大院・薬)

P-026 カドミウムの内皮細胞毒性に対するマンガンの防御作用○安藤 麗香¹, 山本 千夏², 青木 康展³, 鍛冶 利幸¹(¹東京理大・薬, ²北陸大・薬, ³国立環境研)**P-060** 酸化リン脂質分解酵素 PAF-AH2 のマスト細胞の脱顆粒シグナルにおける役割○嶋中 雄太¹, 河野 望¹, 武富 芳隆², 向井 康治朗¹, 村上 誠²,
新井 洋由¹(¹東大院・薬, ²東京都医学総合研)**P-099** トリブチルスズによる濃度依存的な小胞体ストレス誘導メカニズム○磯村 緑¹, 古武 弥一郎^{1,2}, 増田 恭一¹, 佐溝 茂良², 太田 茂^{1,2}(¹広島大・薬, ²広島大院・医歯薬)**P-103** 黄砂が呼吸器・免疫系に及ぼす影響○松田 悠吾¹, 本田 晶子¹, 村山 留美子¹, 辻 堅志¹, 西川 雅高²,
小池 英子², 吉田 成一³, 市瀬 孝道³, 高野 裕久¹(¹京大院・工, ²国立環境研, ³大分県立看護科学大・看護)**P-122** Perfluorooctane sulfonate (PFOS) 長期曝露による *in vitro* 及び *in vivo* GluR2 発現減少○津山 由美¹, 古武 弥一郎^{1,2}, 杉山 千尋¹, 瀧下 智子², 佐能 正剛^{1,2},
太田 茂^{1,2}(¹広島大・薬, ²広島大院・医歯薬)

P-131 ダイオキシン母体曝露による脳下垂体ホルモンへの影響：
ダイオキシン種および動物種間の比較検討

○田浦 順樹¹, 武田 知起¹, 藤井 美彩紀¹, 石井 祐次¹, 月森 清巳²,
内 博史³, 黒木 広明⁴, 古江 増隆³, 山田 英之¹
(¹ 九大院・薬, ² 福岡市立こども病院, ³ 九大病院, ⁴ 第一薬大)

P-166 新しいメチル化頻度プロファイリング法「MSD-AFLP 法」の開発

○相場 俊樹¹, 齋藤 俊行², 遠山 千春¹, 栗田 尚佳¹, 大迫 誠一郎¹
(¹ 東大院・医, ² 放医研・重粒子)

P-181 メチル水銀のグルタチオン結合体によるタンパク質のS-トランス水銀化の実態解明

○吉田 映子¹, 熊谷 嘉人^{1,2}
(¹ 筑波大院・人間総合科学, ² 筑波大・医学医療系)

新人賞候補者

P-008 双極子を認識する新規吸着剤の開発と残留農薬・動物用医薬品分析への応用

○鈴木 志穂¹, 三輪 俊夫¹, 山本 敦¹, 齋藤 勲², 井上 嘉則³,
齊藤 満³
(¹ 中部大・応生, ² 科学技術交流財団, ³ 日本フィルコン)

P-107 タイ住民を対象とした多環芳香族炭化水素キノン誘導体の尿中代謝物測定

○旭 美樹¹, 細住 智恵美¹, 鳥羽 陽¹, Thaneeya Chetiyankornkul², 唐 寧³,
亀田 貴之¹, 早川 和一¹
(¹ 金沢大・薬, ² タイ・チェンマイ大・理, ³ 兵庫医大)

P-135 ダイオキシンによる児の発育障害の機構：成長ホルモン、甲状腺ホルモンおよび糖質コルチコイド低下に着目した解析

○服部 友紀子, 武田 知起, 藤井 美彩紀, 石井 祐次, 山田 英之
(九大・薬)

P-136 ダイオキシンが思春期ラットの肝臓メタボロームに及ぼす影響：
ロイコトリエン B4 蓄積とその機構

○小宮 由季子¹, 木庭 彰彦¹, 武田 知起¹, 古賀 貴之¹, 石井 祐次¹,
菊田 安至², 内 博史³, 古江 増隆³, 山田 英之¹
(¹ 九大・薬, ² 福山大・生命工, ³ 九大病院)

P-138 Diethylstilbestrol の胎児蓄積性と胎児エストロゲンシグナルかく乱作用

○松田 達弥, 吉川 紘, 西岡 康, 中西 剛, 永瀬 久光
(岐阜薬大)

P-140 大麻成分 Δ^9 -THC による内分泌攪乱：第2のエストロゲン受容体 (ER β) を介した新規メカニズム

○吉田 和貴¹, 竹田 修三¹, 西村 肇¹, 原田 麻里¹, 三好 弘子¹, 岡島 隼輔¹,
渡辺 和人², 荒牧 弘範¹
(¹第一薬大, ²北陸大・薬)

10月25日(木) 15:20~16:10

セッション1 金属1

座長：佐藤 雅彦 (愛知学院大・薬)
木村 朋紀 (摂南大・薬)

15:20 - 15:30

O1-1 メチル水銀の S- 水銀化を介した PI3K/Akt/CREB シグナル伝達の模倣および攪乱

○外山 喬士¹, 上原 孝², 鍛冶 利幸¹, 熊谷 嘉人³
(¹東京理大・薬, ²岡山大院・医歯薬, ³筑波大・医学医療系)

15:30 - 15:40

O1-2 *Pseudomonas* K-62 由来 plasmid pMR68 の水銀耐性遺伝子の機能解析

○清野 正子¹, 曾根 有香¹, 中村 亮介¹, 芳生 秀光²
(¹北里大・薬, ²摂南大・薬)

15:40 - 15:50

O1-3 胎児から成獣の各発達期に於けるラット脳へのメチル水銀取り込みの変化

○坂本 峰至, 中野 篤弘 (国水研・疫学)

15:50 - 16:00

O1-4 脳内セレンの保持に関与するタンパク質の探索

○浦 東子, 原武 衛, 淵上 剛志, 中山 守雄 (長崎大院・医歯薬)

16:00 - 16:10

O1-5 消化管由来 Caco-2 細胞でのカドミウム輸送における DMT1 と ZIP14 の役割

○藤代 瞳, 田中 里奈, 姫野 誠一郎 (徳島文理大・薬)

10月25日(木) 16:10~17:10

セッション2 金属2, 酸化ストレス1

座長: 清野 正子 (北里大・薬)

大西 志保 (鈴鹿医療大・薬)

16:10 - 16:20

O2-1 ラット H9c2 細胞の心筋分化に対する亜ヒ酸の影響

○角 大悟, 阿部 和沙, 姫野 誠一郎 (徳島文理大・薬)

16:20 - 16:30

O2-2 核酸非配位性白金, パラジウム錯体の抗癌分子標的○小谷 明¹, 小川 数馬¹, 黄檗 達人¹, 高山 浩², 竹森 麻美¹,
松岡 由貴¹(¹金沢大院・医薬保, ²名古屋大院・理)

16:30 - 16:40

O2-3 LPS により誘発される脳組織傷害に対するレドックスバランスの制御を介した尿酸の保護作用○渡辺 聡, 栢木 純暉, 小林 勇貴, 松木 美笛, 松尾 衣里子, 福井 哲也
(星薬大)

16:40 - 16:50

O2-4 PHGPx 欠損による細胞死は脂質酸化を起因とする新規細胞死である○今井 浩孝¹, 松岡 正城^{1,2}, 原田 晋作¹, 新井 洋由², 中川 靖一¹
(¹北里大・薬, ²東大院・薬)

16:50 - 17:00

O2-5 Glycolaldehyde による細胞死に対する Multidrug Resistance-Associated Protein 1 の関与

○佐藤 恵亮, 山 佳織, 立浪 良介, 丹保 好子 (北海道薬大)

17:00 - 17:10

O2-6 周回型オーバーハウザー MRI によるマウス胃内投与ニトロキシルプローブの分子イメージング○伊藤 慎治¹, 安川 圭司^{1,2}, 長沼 辰弥³, 市川 和洋¹, 内海 英雄¹,
兵藤 文紀¹ (¹九大・レドックスナビ研究拠点, ²九大院・薬, ³日本レドックス)

10月25日(木) 17:10~18:10

セッション3 酸化ストレス2, 脳・神経毒性物質

座長: 今井 浩孝 (北里大・薬)

毛利 彰宏 (名城大・薬)

17:10 - 17:20

O3-1 代謝変化時の活性酸素種産生とペルオキシレドキシンの機能

○渡部 俊彦, 色川 隼人, 久下 周佐 (東北薬大)

17:20 - 17:30

O3-2 酵母ペルオキシレドキシンの依存的な糖新生制御と酸化ストレス応答

○色川 隼人, 小笠原 綾子, 渡部 俊彦, 大館 巧, 岩井 健太, 久下 周佐 (東北薬大)

17:30 - 17:40

O3-3 抗アポトーシス因子 Bag-1 が ERK のリン酸化に与える影響

○大館 巧, 友田 文, 佐々木 貴彦, 今野 堅一郎, 高野 博明, 岩井 健太, 久下 周佐 (東北薬大)

17:40 - 17:50

O3-4 低周波騒音が平衡感覚に与える影響○大神 信孝¹, 田村 青鳥², 飯田 真智子¹, 矢嶋 伊知朗², 加藤 昌志^{1,2}
(¹中部大・生命健康科学, ²中部大院・応用生物)

17:50 - 18:00

O3-5 カンナビジオールの CYP2C19 活性阻害の構造要求性○蔣 融融¹, 山折 大¹, 山本 郁男², 渡辺 和人¹
(¹北陸大・薬, ²九州福保大・薬)

18:00 - 18:10

O3-6 マウス側坐核での Shati の過剰発現によるメタンフェタミンの毒性の増強は代謝型グルタミン酸受容体3によって調節されている○新田 淳美¹, 石川 雄大¹, 鷺見 和之¹, 家垣 典幸¹, 宇野 恭介¹, 日比 陽子², 村松 慎一³, 鍋島 俊隆⁴, 宮本 嘉明¹ (¹富山大院・薬, ²名古屋大病院・薬, ³自治医大, ⁴名城大・薬)

10月25日(木) 17:30～18:10

セッション4 予防薬学

座長：原 俊太郎 (昭和大・薬)
山本 千夏 (北陸大・薬)

17:30 - 17:40

O4-1 植物油摂取が脳卒中易発症高血圧自然発症ラット (SHRSP) の生存日数におよぼす影響—カノーラ油による生存日数短縮とその背景—○河村 さやか¹, 内藤 由紀子², 立花 滋博³, 小野田 早恵¹, 大原 直樹¹, 吉川 真衣¹, 新美 まどか¹, 川口 真帆¹, 宮澤 大介¹, 安井 裕子¹, 山田 和代¹, 奥山 治美¹ (¹金城学院大・薬, ²国立循環器病研セ, ³食品薬品安全セ)

17:40 - 17:50

O4-2 高脂肪食誘導性脂肪肝発症におけるテストステロンとメタロチオネインの相互作用の解析

○川上 隆茂, 西川 裕, 門田 佳人, 佐藤 政男, 鈴木 真也 (徳島文理大・薬)

17:50 - 18:00

O4-3 骨芽細胞による破骨細胞制御機構に及ぼすメラトニンの影響

○西田 真規, 金木 弘之, 桐生 道明, 井手 速雄 (東邦大・薬)

18:00 - 18:10

O4-4 植物ホルモンのケルセチンは骨粗鬆症などの骨代謝疾患の予防に有用である

○山口 祐希, 金木 弘之, 西田 真規, 桐生 道明, 井手 速雄 (東邦大・薬)

10月26日(金) 9:00～9:50

セッション5 環境汚染物質1

座長：姫野 誠一郎 (徳島文理大・薬)
武田 知起 (九大院・薬)

9:00 - 9:10

05-1 アセトアミノフェンの水環境中における光分解と光毒性○川畑 公平¹, 尾川 雄一¹, 杉原 数美^{1,2}, 佐能 正剛¹, 北村 繁幸³,
太田 茂¹ (¹広島大院・医歯薬, ²広島国際大・薬, ³日本薬大)

9:10 - 9:20

05-2 下水及び河川中に存在する抗インフルエンザ薬タミフル及びその活性代謝物、リレンザの定量解析○東 剛志^{1,2}, 中田 典秀¹, 山下 尚之¹, 佐藤 卓史², 三野 芳紀²,
田中 宏明¹ (¹京大院・流域圏セ, ²大阪薬大)

9:20 - 9:30

05-3 日本海域における多環芳香族炭化水素類の動態○吉田 翔太¹, Yvonne Chondo¹, 唐 寧², 洪 天祥¹, 鳥羽 陽¹,
亀田 貴之¹, 早川 和一¹ (¹金沢大院・薬, ²兵庫医大)

9:30 - 9:40

05-4 東アジア4ヶ国(日本, 中国, 韓国, ロシア)における大気中多環芳香族炭化水素及びニトロ多環芳香族炭化水素の最近14年間の変動とその要因○末松 千賀子¹, 唐 寧², 亀田 貴之¹, 鳥羽 陽¹, 早川 和一¹
(¹金沢大院・薬, ²兵庫医大)

9:40 - 9:50

05-5 マイクロ流路システムによる冷却塔水中の *Legionella pneumophila* のオンサイトモニタリング

山口 進康, ○阪野 文哉, Kanya Muangkaew, 那須 正夫 (阪大院・薬)

10月26日(金) 9:50~10:40

セッション6 環境汚染物質2, 食品と農薬, 発がん性物質

座長: 角 大悟 (徳島文理大・薬)

新開 泰弘 (筑波大院・人間総合科学)

9:50 - 10:00

O6-1 黄砂付着微生物による雄性生殖機能への影響○吉田 成一¹, 賀 森¹, 小林 史尚², 市瀬 孝道¹
(¹大分県立看護科学大・看護, ²金沢大・理工研究域)

10:00 - 10:10

O6-2 スクラロースを使用した食品におけるクロロプロパノール類生成について○庄村 優¹, 太田 陽子², 中村 幹雄², 松井 元子¹, 大谷 貴美子¹,
川添 禎浩^{1,3}
(¹京都府大院・生命環境科学, ²鈴鹿医療大・薬, ³京都女子大・家政)

10:10 - 10:20

O6-3 酸化油脂によるマウス接触性過敏反応増悪化に関する検討○荻野 泰史, 北山 美帆, 別當 知佐, 荒川 友博, 奥野 智史, 上野 仁
(摂南大・薬)

10:20 - 10:30

O6-4 Polycyclic aromatic hydrocarbons and nitropolycyclic aromatic hydrocarbons in motorcycle exhaust particulates and atmosphere in Hanoi, VietnamPham Chau Thuy¹, Takayuki Kameda^{1,2}, Akira Toriba^{1,2}, Kazuichi Hayakawa^{1,2}
(¹ Grad. Sch. Nat. Sci. Technol., Kanazawa Univ., ² Inst. Med., Pharm. Health Sci., Kanazawa Univ.)

10:30 - 10:40

O6-5 Antiplatelet effect of AMP-activated protein kinase activator and its potentiation by dipyridamole, a phosphodiesterase inhibitorYingqiu Liu¹, Kyung-Hwa Chang¹, Yoon-Gyoon Kim², Moo-Yeol Lee¹
(¹Col. Pharm., Dongguk Univ., ²Dept. Pharmacol., Col. Med., Dankook Univ.)

10月26日(金) 15:20~16:10

セッション7 細胞応答

座長：平工 雄介 (三重大院・医)
高橋 勉 (東北大院・薬)

15:20 - 15:30

O7-1 シスタチオニンβシターゼに由来する H₂S/HS⁻ は細胞内親電子シグナルを制御する○新開 泰弘¹, 三浦 高¹, Bruce A. Freeman², 赤池 孝章³, 熊谷 嘉人¹
(¹筑波大院・人間総合科学, ²ピッツバーグ大・医, ³熊本大・医)

15:30 - 15:40

O7-2 マウス初代肝細胞における環境中親電子リガンド 1,2-ナフトキノンのグルタチオン抱合体の意外な細胞内運命○掛橋 秀直¹, 新開 泰弘^{1,2}, 熊谷 嘉人^{1,2}
(¹筑波大院・人間総合科学, ²筑波大・医学医療系)

15:40 - 15:50

O7-3 肝臓における2つの Nrf2 活性制御機構と胆管形成

○田口 恵子, 本橋 ほづみ, 山本 雅之 (東北大院・医)

15:50 - 16:00

O7-4 ジフェニルアルシン酸はグルタミナーゼの四量体構造を不安定化し, Lon protease による分解を促進する

○北 加代子, 鈴木 俊英, 越智 崇文 (帝京大・薬)

16:00 - 16:10

O7-5 甘草成分の選択的抗がん細胞作用におけるグルタチオン抑制について○山口 秀明¹, 木立 由美², 上家 勝芳², 野下 俊朗³, 梅津 博紀⁴, 獵山 一雄²
(¹名城大・薬, ²青森大・薬, ³県立広島大・生命, ⁴岐阜聖徳学園短大)

10月26日(金) 16:10~17:00

セッション 8 内分泌攪乱化学物質, 分析法, 生化学

座長: 藤原 泰之 (愛知学院大・薬)
関本 征史 (静岡県大・薬)

16:10 - 16:20

O8-1 抗菌剤パラベン類の内分泌攪乱作用の特徴と構造活性相関○渡部 容子^{1,2}, 小島 弘幸³, 武内 伸治³, 浦丸 直人¹, 太田 茂²,
北村 繁幸¹ (¹日本薬大, ²広島大院・医歯薬, ³北海道衛生研)

16:20 - 16:30

O8-2 アンドロゲン高産生モデルマウスの作製とその雌性生殖器形成の解析○西岡 康¹, 吉川 紘¹, 伊師 賢樹¹, 吉田 一郎^{1,2}, 中西 剛¹, 永瀬 久光¹
(¹岐阜薬大, ²岐阜県保健環境研)

16:30 - 16:40

O8-3 細胞内グルタチオントランスフェラーゼを検出するための蛍光プローブの開発○荒木 美香^{1,2}, 柴田 綾¹, 伊藤 美香^{1,3}, 阿部 洋^{1,4}, 吉田 泰彦²,
Zhang Jie⁵, Morgenstern Ralf⁵, 伊藤 嘉浩¹
(¹理研, ²東洋大院・工, ³北大院・薬, ⁴JST さきがけ, ⁵カロリンスカ研)

16:40 - 16:50

O8-4 ホルモン依存性加齢性疾患の原因と治療

○加藤 創, 小松 祥子, 大野 賢一, 山下 幸和 (東北薬大)

16:50 - 17:00

O8-5 トランスフェリンのリサイクリング過程の Rab11 と Exocyst 繫留複合体による調節

高橋 千絵, 久保 慶治, 加藤 洋平, ○中山 和久 (京大院・薬)

質疑応答時間：

10月25日（木）奇数 13：00～13：35

偶数 13：35～14：10

食品と農薬

P-001 安息香酸系化合物の Caco-2 細胞における立体選択的な取り込み

○木村 治¹, 塚越 建介², 早坂 敬明³, 遠藤 哲也¹
(¹北医療大・薬, ²聖が丘病院, ³札幌徳洲会病院)

P-002 LC-MS/MS による食品中残留農薬の一斉分析法の検討

○渡邊 美奈恵, 上野 英二, 井上 知美, 大野 春香, 猪飼 誉友,
森下 智雄 (愛知県衛生研)

P-003 健康食品の安全性に関する研究 (第15報) 各種健康食品の硝酸塩の含有量について

○門前 なつ希¹, 松井 元子¹, 大谷 貴美子¹, 川添 禎浩^{1,2}
(¹京都府大院・生命環境, ²京都女子大・家政)

P-004 ロスマリン含有茶の各種生物活性に関する研究

○出口 雄也¹, 河野 広大¹, 田辺 晃啓¹, 井上 香織¹, 岸 智裕¹,
長岡 (浜野) 恵², 長岡 寛明¹ (¹長崎国際大・薬, ²国立医薬品食品衛生研)

P-005 微細藻類の抗変異原性とラジカル捕捉能

○小原 章裕¹, 山口 裕司², 竹中 裕行², 湊 健一郎¹
(¹名城大・農, ²マイクロアルジェコーポレーション)

P-006 フラボノイド類がマウス胚性幹細胞分化に及ぼす影響

○谷口 結基¹, 岡本 誉士典¹, 伊豫田 智子¹, 牛田 真理子¹,
岡本 真太郎¹, 近藤 沙和美¹, 高田 達之², 小嶋 伸夫¹
(¹名城大・薬, ²立命館大・薬)

P-007 植物由来プレニル化ゲニステインの構造変化によるエストロゲン受容体転写調節の正負変動

○有田 卓矢, 岡本 誉士典, 岩田 綾香, 安井 彩, 山中 彩歌, 吉田 将之,
植田 康次, 井藤 千裕, 小嶋 伸夫 (名城大・薬)

P-008 双極子を認識する新規吸着剤の開発と残留農薬・動物用医薬品分析への応用

○鈴木 志穂¹, 三輪 俊夫¹, 山本 敦¹, 斎藤 勲², 井上 嘉則³, 齊藤 満³ (¹中部大・応生, ²科学技術交流財団, ³日本ファイルコン)

P-009 組換えヒトデクチン-1の結合特異性

○由良 裕城, 木落 信郎, 山内 陽介, 小池 正太, 奥村 裕紀, 氏田 稔 (名城大・農)

P-010 食品中の親水性危害因子分析のための前処理用吸着剤の開発と応用

○棚田 千尋¹, 小林 泰之¹, 上茶 谷若^{1,2}, 山本 敦¹, 井上 嘉則², 齊藤 満² (¹中部大・応生, ²日本ファイルコン)

P-011 ヒトキトリオシダーゼの組換えキチン結合ドメインの結合特異性

○丹羽 将, 山田 昌広, 山中 麻由美, 奥村 裕紀, 氏田 稔 (名城大・農)

P-012 銀杏中毒原因物質 4'-O-Methylpyridoxine のヒトにおけるグルクロン酸抱合反応について

○石川 美香, 小林 大祐, 吉村 昭毅, 和田 啓爾 (北医療大・薬)

P-013 泡盛蒸留残渣由来の環状ジペプチドの抗酸化活性及びその構造活性相関

古川 忠志¹, 芥川 隆¹, 船谷 仁美¹, 内田 稔和¹, ○高谷 芳明¹, 堀田 芳弘², 丹羽 正武¹ (¹名城大・薬, ²金城学院大・薬)

P-014 食品添加物の光分解について

○河村 典久¹, 小玉 幸与¹, 高嶋 麻貴¹, 岸本 真由子¹, 千葉 拓¹, 長谷 博子², 野浪 亨² (¹金城学院大・薬, ²中京大・情報理工)

P-015 泡盛蒸留残渣由来の環状ジペプチドの虚血再灌流障害保護活性

○森川 穂奈美¹, 古川 忠志¹, 芥川 隆¹, 堀田 芳弘², 高谷 芳明¹, 丹羽 正武¹ (¹名城大・薬, ²金城学院大・薬)

P-016 泡盛蒸留残渣の抗酸化活性成分

○山田 愛子, 打田 あゆみ, 高谷 芳明, 丹羽 正武 (名城大・薬)

P-017 拘束水浸ストレス負荷による記憶障害に対する betaine の改善作用 :GABA 作動性神経系の関わり

○國澤 和生, 坪井 純子, 小川 麻子, 春日井 悠司, 鍋島 俊隆, 平松 正行 (名城大・薬)

P-018 椎茸に含まれるビタミン B₁₂ 化合物の特性

○大石 典治¹, 宮本 恵美², 竹中 重雄³, 作野 えみ⁴, 藪田 行哲¹, 渡辺 文雄¹ (¹鳥取大院・農, ²長崎国際大・健康管理, ³大阪府大院・生命環境, ⁴日本きのこセンター菌茸研)

P-019 植物酵素による糖転移ケルセチンの生産とその消化管吸収特性

○田中 和貴, 金丸 美咲, 水谷 優希, 寺坂 和祥, 牧野 利明, 水上 元 (名市大院・薬)

P-020 拘束水浸ストレスおよびホモシステイン投与により誘発される記憶障害に対するベタインの改善作用

○中島 菜月, 木下 沙織, 鍋島 俊隆, 平松 正行 (名城大・薬)

金属

P-021 メチル水銀の標的タンパク質の探索 : S-水銀化を介した UCH-L1 の機能破綻とそれに伴う細胞内モノユビキチン量の変動

○片山 祐子¹, 外山 喬士², 熊谷 嘉人^{1,3}
(¹筑波大院・生命環境科学, ²東京理大・薬, ³筑波大・医学医療系)

P-022 カドミウム誘発性小胞体ストレス軽減因子としてのユビキチンリガーゼ FBXO6 の役割

○杜 可, 黄 基旭, 永沼 章 (東北大院・薬)

P-023 メタロチオネイン-I 遺伝子の転写におけるクロマチンリモデリングファクター Snf2H の役割

○射手園 雄一, 保坂 卓臣, 岡田 和也, 木村 朋紀, 藤森 廣幸, 磯部 正和 (摂南大・薬)

P-024 脳内亜鉛シグナルの減少に伴うてんかん発作感受性の増大

○飯田 雅史, 安藤 正樹, 中村 仁総, 奥 直人, 武田 厚司 (静岡県大院・薬)

P-025 メタロチオネイン-I 遺伝子プロモーター領域のクロマチン構造と転写活性

○田中 亨, 古田 雄三, 保坂 卓臣, 木村 朋紀, 藤森 廣幸, 磯部 正和
(撰南大・薬)

P-026 カドミウムの内皮細胞毒性に対するマンガンの防御作用

○安藤 麗香¹, 山本 千夏², 青木 康展³, 鍛冶 利幸¹
(¹東京理大・薬, ²北陸大・薬, ³国立環境研)

P-027 有機ビスマス化合物の細胞毒性はそのアンチモン置換体では消失する

○郡 久美子¹, 中浴 静香¹, 山本 千夏², 安池 修之², 角澤 直紀²,
栗田 城治², 鍛冶 利幸¹ (¹東京理大・薬, ²北陸大・薬)

P-028 メチル水銀がヒト脳組織において誘発する浮腫性変化のメカニズムとしてのポリオール経路の機能障害

○平田 明成¹, 廣岡 孝志¹, 山本 千夏², 鍛冶 利幸¹
(¹東京理大・薬, ²北陸大・薬)

P-029 カドミウムによる腎尿細管細胞でのアポトーシス誘導における p53 の関与

○李 辰竜¹, 徳本 真紀^{1,2}, 岩田 紘司朗¹, 藤原 泰之¹, 佐藤 雅彦¹
(¹愛知学院大・薬, ²昭和薬大)

P-030 海馬歯状回シナプス亜鉛シグナルの減少による一過性の物体認識記憶障害

○藤井 洋昭, 高田 俊介, 中村 仁聡, 奥 直人, 武田 厚司
(静岡県大院・薬, Global COE)

P-031 亜鉛欠乏は高脂肪食摂取による非アルコール性脂肪性肝障害を悪化させる

○関 庚善, 森脇 崇, 上田 英典, 坂崎 文俊 (大阪大谷大・薬)

P-032 チオール化合物を介するセレノジグルタチオンの乳がん細胞傷害作用

○近 祥太郎, 鈴木 千帆, 山本 京, 植田 康次, 岡本 誉士典, 小嶋 仲夫
(名城大・薬)

P-033 クロムの毒性発現における感受性時刻差

○三浦 伸彦¹, 外川 雅子², 長谷川 達也²
(¹労働安全衛生総合研, ²山梨環境研)

P-181 メチル水銀のグルタチオン結合体によるタンパク質のS-トランス水銀化の実態解明

○吉田 映子¹, 熊谷 嘉人^{1,2}
(¹筑波大院・人間総合科学, ²筑波大・医学医療系)

酸化ストレス**P-034** 抗がん性抗生物質イダルビシンのアポトーシス誘導における活性酸素種の役割

○水谷 秀樹¹, 齋藤 彩里¹, 志賀 千秋¹, 池村 健治¹, 平工 雄介², 川西 正祐³ (¹金城学院大・薬, ²三重大院・医, ³鈴鹿医療大・薬)

P-035 糖化反応中間体 dihydropyrazine による glutathione balance への影響

○石田 卓巳, 山口 忠敏, 武知 進士 (崇城大・薬)

P-036 糖化反応中間体によるタンパク質付加体の解析

○武知 進士, 石田 卓巳, 山口 忠敏 (崇城大・薬)

P-037 環境酸化ストレスの細胞影響評価を志向したニトロキシド - 蛍光プローブ

○中川 秀彦, 池田 麻美子, 家田 直弥, 宮田 直樹 (名市大院・薬)

P-038 マウス腎発がん過程における酸化的 DNA 損傷のゲノム内分布

○赤塚 慎也, 李 光華, 豊國 伸哉 (名古屋大院・医)

P-039 潰瘍性大腸炎患者の尿中クレアチニン代謝物の分析 - 慢性大腸炎の有用な酸化ストレスマーカーとしての可能性 -

○加藤 孝一¹, 浦野 敦^{1,2}, 立川 真理子¹, 真坂 互², 山田 哲弘³, 鈴木 康夫³, 山中 健三¹
(¹日本大・薬, ²東邦大医療セ佐倉薬, ³東邦大医療セ佐倉消化内)

P-040 N^{ϵ} -(3-formyl-3,4-dehydropiperidino)lysine の不死化視床下部神経細胞 GT1-7 に対する毒性発現

○大河原 晋, 久土 綾香, 黒仁田 和美, 酒井 亜沙美, 小山 裕也, 伊藤 潔 (九州保福大・薬)

P-041 シュワン細胞におけるエパルレスタットの影響

○山 佳織, 佐藤 恵亮, 丹保 好子 (北海道薬大)

P-042 ナノマテリアルによる細胞内活性酸素種の産生機序に関する検討

○本間 安季¹, 小野寺 章¹, 田鍋 奈巳¹, 太田 舞子¹, 石井 幸奈¹, 古田 拓也¹, 米村 重信², 堤 康央³, 河合 裕一¹
(¹神戸学院大・薬, ²理研 CDB, ³阪大院・薬)

P-043 生体レドックスイメージングによる急性腎障害の可視化

○兵藤 文紀¹, 本田 洋平², 伊藤 慎治¹, 市川 和洋¹, 山田 健一², 内海 英雄¹ (¹九大レドックスナビ拠点, ²九大院・薬)

P-044 バレット食道におけるプロトンポンプ阻害剤の Mn-SOD 発現を介した DNA 損傷への効果

○村田 真理子¹, 平工 雄介¹, 及川 伸二¹, タナン レイヌー², ピラオール ソムチャイ², 馬 寧³, 川西 正祐⁴
(¹三重大院・医, ²コンケン大・医, ³鈴鹿医療大・保, ⁴鈴鹿医療大・薬)

免疫毒性・感染症**P-045** ビルハルツ住血吸虫感染による膀胱癌における DNA 損傷と幹細胞マーカー

○大西 志保¹, 馬 寧², タナン レイヌー^{1,3}, 小林 果^{3,4}, 平工 雄介³, 及川 伸二³, 村田 真理子³, 川西 正祐¹
(¹鈴鹿医療大・薬, ²鈴鹿医療大・保, ³三重大院・医, ⁴京大・医)

P-046 トリ型結核菌 *Mycobacterium avium* の増殖とアンモニア産生に関する研究

○花村 菜月¹, 瀧井 猛将¹, 宮田 江里香¹, 筑比地 慧¹, 伊藤 佐生智¹, 山本 龍二¹, 堀田 康弘², 小川 賢二³, 八木 哲也³, 西森 敬⁴, 大原 直也⁵, 藤原 永年⁵, 田 伸司⁶, 山崎 利雄⁷, 後藤 義孝⁸, 小野寄 菊夫¹ (¹名市大院・薬, ²結核研, ³東名古屋病院, ⁴名古屋大病院, ⁵岡山大院・医歯薬, ⁶大阪市大院・医, ⁷国立感染研, ⁸宮崎大院・医獣)

P-047 家庭用品から放散するアクリル酸エステル類及びメタクリル酸エステル類の感作性評価

○五十嵐 良明¹, 内野 正¹, 西村 哲治² (¹国立医薬品食品衛生研, ²帝京平成大・薬)

P-048 黄色ブドウ球菌分泌毒素 Staphylococcal superantigen like 3 は toll like receptor 2 (TLR2) に結合し, TLR2 リガンドによるマクロファージからの炎症性サイトカイン産生を抑制する

横山 領介¹, ○伊藤 佐生智¹, 鴨志田 剛², 奥村 拓也¹, 瀧井 猛将¹, 藤井 聡¹, 辻 勉², 小野寄 菊夫¹ (¹名市大院・薬, ²星薬大)

P-049 黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL5 とマトリックスメタロプロテアーゼ9の結合様式の解析

○花井 朱璃¹, 伊藤 佐生智¹, 瀧井 猛将¹, 辻 勉², 小野寄 菊夫¹ (¹名市大院・薬, ²星薬大)

細胞応答**P-050 FXR によるヒト成人尿細管上皮由来細胞株 HK-2 の細胞増殖制御**

○藤野 智史, 坂本 奈美, 古里 悠美子, 酒巻 良輔, 伊藤 晴香, 早川 磨紀男 (東京薬大・薬)

P-051 IL-17 による骨吸収促進作用は加齢に伴い亢進する

○若林 希理恵, 金木 弘之, 吉村 鮎美, 羽鳥 晃一, 井手 速雄 (東邦大・薬)

P-052 破骨細胞形成に及ぼす IL-1 の直接作用と間接作用

○羽鳥 晃一, 金木 弘之, 若林 希理恵, 吉村 鮎美, 井手 速雄 (東邦大・薬)

P-053 IL-18 による骨吸収抑制作用は加齢に伴い低下する

○吉村 鮎美, 金木 弘之, 羽鳥 晃一, 若林 希理恵, 井手 速雄 (東邦大・薬)

P-054 破骨細胞分化に及ぼすフラボノールの構造活性相関について

○桐生 道明, 井手 速雄 (東邦大・薬)

P-055 薬剤抵抗性がん細胞における K-ras 蛋白質の解析

○小澤 翼, 今井 正彦, 高橋 典子 (星薬大)

P-056 ファルカリンディオールによるシステイン残基の修飾に伴う抗酸化および抗炎症作用

○大沼 友和, 山崎 清華, 西山 貴仁, 小倉 健一郎, 平塚 明 (東京薬大・薬)

P-057 柑橘類果皮成分ノビレチンによる小胞体および酸化ストレス関連遺伝子発現への影響

○宮田 美咲¹, 池田 絢香¹, 吉田 千晶¹, 木村 純子¹, 森 惇貴¹, 藤原 博典², 横須賀 章人³, 三卷 祥浩³, 大泉 康^{1,2,4}, 関本 征史¹, 根本 清光¹, 出川 雅邦¹

(¹静岡県大・薬, ²東北大院・工, ³東京薬大・薬, ⁴横浜薬大)

P-058 炎症性サイトカインによる BMP アンタゴニストの発現調節

○水落 茂樹, 泉 雄介, 森田 涼子, 藤原 彩香, 金木 弘之, 井手 速雄 (東邦大・薬)

P-059 飽和脂肪酸による小胞体ストレス応答活性化の意義

○有山 博之, 北井 祐人, 田中 陸人, 河野 望, 新井 洋由 (東大院・薬)

P-060 酸化リン脂質分解酵素 PAF-AH2 のマスト細胞の脱顆粒シグナルにおける役割

○嶋中 雄太¹, 河野 望¹, 武富 芳隆², 向井 康治朗¹, 村上 誠², 新井 洋由¹ (¹東大院・薬, ²東京都医学総合研)

P-061 A new approach to study the functions of polyunsaturated fatty acids (PUFAs) in biological membranes

○Takuya Kubo¹, Shinji Matsuda¹, Takao Inoue¹, Eriko Kage-Nakadai², Shohei Mitani², Hiroyuki Arai¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Univ. Tokyo, ²Sch. Med. Tokyo Women's Med. Univ.)

P-062 健常人からのメチシリン耐性ブドウ球菌検出率と菌株の特徴

○小森 由美子, 星野 裕子, 見田 貴裕, 二改 俊章 (名城大・薬)

- P-063** プリン受容体阻害薬による放射線障害増強作用の検討
○井手 俊太, 月本 光俊, 小島 周二 (東京理大・薬)
- P-064** 食用キノコ“タモギタケ”のマクロファージに対する抗炎症作用
○湊 健一郎, 早坂 真依, 森田 友, 小原 章裕 (名城大・農)
- P-065** タモギタケおよびナメコの免疫調節作用
○湊 健一郎, 安藤 恵, 渡辺 広大, 小原 章裕 (名城大・農)
- P-066** 繊維型大麻草の主成分であるカンナビジオール酸は乳がん細胞 migration を抑制する
○竹田 修三¹, 吉田 和貴¹, 西村 肇¹, 渡辺 和人², 荒牧 弘範¹
(¹第一薬大, ²北陸大・薬)
- P-067** ヒト気管支上皮細胞のストレス関連遺伝子に及ぼすカーボンナノチューブの影響
○加藤 美紀¹, 等 浩太郎¹, 鈴木 智子², 安藤 義則², 灘井 雅行¹
(¹名城大・薬, ²名城大・理工)
- P-068** 細胞ストレス応答下における UDP glucuronosyltransferase (UGT) 1A1 の発現制御
○川井 麻友美, 中平 桂子, 石井 陽子, 石戸谷 その, 伊藤 友香, 井上 靖道, 水谷 隆治, 林 秀敏 (名市大院・薬)
- P-069** サルモネラの病原性における細胞内カルシウムイオンの重要性
○打矢 恵一, 二改 俊章 (名城大・薬)
- P-070** UVA の眼への長期照射はマウスの皮膚に光老化を誘導する
○平本 恵一, 佐藤 英介 (鈴鹿医療大・薬)
- P-071** 腸細胞におけるビタミン D の自然免疫調節作用
日高 麻由美¹, 若林 一郎², 武田 裕司², ○福澤 健治¹
(¹安田女子大・薬, ²兵庫医大)

生化学

P-072 プロスタグランジン最終合成酵素 mPGES-1/PGIS 両欠損マウスの性状解析

○赤津 萌, 佐々木 由香, 上山 修平, 田村 夏紀, 村田 萌, 原 俊太郎 (昭和大・薬)

P-073 慢性持続性大腸炎に対するラクトフェリンの炎症抑制効果

○木下 章弥, 安藤 堅, 入野 尚子, 小林 貴弘, 彌永 明, 藤田 尚幸, 山下 綾香, 早川 磨紀男 (東京薬大・薬)

P-074 プロスタグランジン最終合成酵素 mPGES-1 および PGIS のがんにおける役割

○高村 優也, 佐々木 由香, 原 俊太郎 (昭和大・薬)

P-075 高脂肪食が骨組織におけるケトン体利用経路に与える影響

○今井 智実, 山崎 正博, 長谷川 晋也, 福井 哲也 (星薬大)

P-076 2つのタイプの肥満が筋肉内ケトン体利用経路へ与える影響の違い

○山崎 正博, 吉田 沙紀, 尾崎 正太郎, 長谷川 晋也, 福井 哲也 (星薬大)

P-077 高脂肪食が褐色脂肪組織におけるケトン体利用経路に与える影響

○尾崎 正太郎, 山崎 正博, 長谷川 晋也, 福井 哲也 (星薬大)

P-078 マウス肝での cholesterol 7 α -hydroxylase およびその転写因子の構成的遺伝子発現における Interleukin-1 の寄与

○小島 美咲¹, 芦野 隆², 吉田 武美², 岩倉 洋一郎³, 関本 征史⁴, 出川 雅邦⁴
(¹農業生物資源研, ²昭和大・薬, ³東京理大・生命科学研, ⁴静岡県大・薬)

P-079 脂肪細胞肥大化促進遺伝子 *Mest* は脂肪細胞分化を抑制する

○門田 佳人, 川上 隆茂, 鈴木 真也 (徳島文理大・薬)

P-080 細胞内ホスホリパーゼ A₂ におけるケモカイン産生機構の解析

○池上 悠貴, 木下 夏海, 鷺尾 彩葉, 原田 和佳, 依田 恵美子, 桑田 浩, 原 俊太郎 (昭和大・薬)

P-081 ニカルジピンによるヒト CYP1A1 遺伝子発現誘導に関わる応答配列の同定

○鈴木 晴香, 関本 征史, 藤井 聖子, 根本 清光, 出川 雅邦 (静岡県大・薬)

P-082 柑橘類果皮成分ノビレチンがヒト CYP1A 酵素遺伝子発現に及ぼす影響

○勝又 慶人¹, 柚 夏澄¹, 関本 征史¹, 横須賀 章人², 三卷 祥浩², 大泉 康^{1,3,4}, 根本 清光¹, 出川 雅邦¹
(¹静岡県大・薬, ²東京薬大・薬, ³東北大院・工, ⁴横浜薬大)

P-083 ヒト精巣におけるビタミン D 代謝酵素 CYP2R1 の発現と生理機能

○鎌尾 まや, 鷺田 依美里, 岡野 登志夫 (神戸薬大)

P-084 クロフィブリン酸によるラット肝 LPCAT の発現誘導に対する食餌性脂肪酸の影響

佐藤 葉子, 原田 陽介, 菅原 彩, 山崎 研, ○工藤 なをみ, 川嶋 洋一 (城西大・薬)

P-085 シトルリン化修飾酵素 PADI4 による TGF- β シグナル伝達制御機構の解析

○久保 知紗希, 井上 靖道, 伊藤 友香, 林 秀敏 (名市大院・薬)

P-086 ハンチントン病関連遺伝子 huntingtin-associated protein 1 (HAP1) の機能解析

○戸田 洋平¹, 藤井 拓夫¹, 伊藤 友香¹, 酒井 聡², 井上 靖道¹, 林 秀敏¹ (¹名市大院・薬, ²新潟薬大・薬)

P-087 TRB ファミリータンパク質による TGF- β シグナルの制御

○吉井 由比子¹, 牛山 小百合¹, 澤中 美希¹, 井手 佑子¹, 大岡 伸通², 酒井 聡³, 伊藤 友香¹, 井上 靖道¹, 小野寄 菊夫¹, 林 秀敏¹
(¹名市大院・薬, ²国立医薬品食品衛生研, ³新潟薬大・薬)

P-088 紫外線誘導アポトーシスにおける染色 DNA 断片化と細胞内関連因子の動態

○樋口 善博, 古川 絢子 (鈴鹿医療大・薬)

P-089 ビタミン B₁₂ 欠乏線虫 (*Caenorhabditis elegans*) におけるスペルミジン代謝異常の解析

○美藤 友博, 松永 洋平, 藪田 行哲, 河野 強, 渡辺 文雄 (鳥取大・農)

P-090 細菌型 sRNA における Hfq 機能的結合モジュールの決定

○森田 鉄兵¹, 石川 博一², 大鷹 弘紀², 牧 貴美香², 饗場 弘二¹
(¹鈴鹿医療大・薬, ²名古屋大院・理)

質疑応答時間：

10月26日（金）奇数 12：50～13：25

偶数 13：25～14：00

環境汚染物質

P-091 多成分系におけるコーヒー豆かす由来炭素材料によるアニオン吸着能
○緒方 文彦, 富永 壽人, 寒川 萌, 井上 健二, 川崎 直人 (近畿大・薬)

P-092 海洋生物由来の2,4,6-tribromoanisoleのin vitro代謝と抗酸化活性

○太田 千穂¹, 原口 浩一², 遠藤 哲也³, 加藤 善久⁴, 松原 大², 古賀 信幸¹ (¹中村学園大・栄養科学, ²第一薬大, ³北医療大・薬, ⁴徳島文理大香川・薬)

P-093 超音波式加湿器から放出される微粒子のキャラクタリゼーション

○関田 啓佑¹, 梅澤 雅和², 鈴木 健一郎², 武田 健^{1,2} (¹東京理大・薬, ²東京理大・総研・環境次世代健康セ)

P-094 炭素ナノ粒子の胎仔期曝露が脳血管周囲マクロファージに与える影響

○小野田 淳人^{1,2}, 梅澤 雅和^{2,3}, 二木 力夫³, 武田 健^{1,3}, 井原 智美², 菅又 昌雄² (¹東京理大・薬, ²栃木臨床病理研, ³東京理大・総研・環境次世代健康セ)

P-095 PCB138の主代謝物2'-OH-PCB157のモルモットにおける分布と排泄経路

○児玉 良太¹, 太田 千穂¹, 原口 浩一², 加藤 善久³, 遠藤 哲也⁴, 古賀 信幸¹ (¹中村学園大・栄養科学, ²第一薬大, ³徳島文理大香川・薬, ⁴北医療大・薬)

P-096 カンボジアのヒ素汚染地域における住民の毛髪、尿および井戸水中のヒ素濃度

○宮高 透喜¹, 森田 晴絵¹, 姫野 誠一郎¹, Suthipong Sthiannopkao² (¹徳島文理大・薬, ²東亜大学・工)

P-097 食事に汚染が懸念されるフェノール性臭素化合物の推定摂取量と血清残留量について

○原口 浩一¹, 西村 恵理¹, 加藤 善久², 藤井 由希子³, 原田 浩二³, 小泉 昭夫³ (¹第一薬大, ²徳島文理大香川・薬, ³京大院・医)

P-098 大気粉塵及び表層土壌の生物活性及び化学成分に関する都市部及び非都市部における地域差

○長谷井 友尋¹, 吉岡 千幸¹, 高橋 秀彰¹, 三宅 佑美¹, 金高 ころろ¹, 池盛 文数², 鳥羽 陽³, 盛山 哲郎⁴, 渡辺 徹志¹ (¹京都薬大, ²名古屋市環境科学調査セ, ³金沢大院・薬, ⁴鳥取県衛環研)

P-099 トリブチルスズによる濃度依存的な小胞体ストレス誘導メカニズム

○磯村 緑¹, 古武 弥一郎^{1,2}, 増田 恭一¹, 佐溝 茂良², 太田 茂^{1,2}
(¹広島大・薬, ²広島大院・医歯薬)

P-100 *In vitro* での hydroxylated S- 含有 PCB 代謝物の生成：動物種差による違い

○黒木 広明, 川村 舞子, 山田 明史, 中井 ひとみ, 井本 真澄, 戸田 晶久 (第一薬大)

P-101 ビスフェノール A 胎仔期曝露が脳神経系に及ぼす影響～ X 染色体不活性化機構を中心とした解析～

○熊本 隆之, 押尾 茂 (奥羽大・薬)

P-102 漂流・漂着ポリスチレン由来の化学物質による西日本沿岸の汚染実態

○西野 晃充^{1a}, 小泉 公志郎^{1b}, 佐藤 秀人^{1b}, 岡部 顕史^{1b}, 山本 守和^{1c}, 鄭 宣龍², 西村 昌彦³, 道祖土 勝彦^{1d} (^{1a}日大・理工・院, ^{1b}日大・理工, ^{1c}日大・芸術, ^{1d}日大・薬, ²韓国・全南大・工学, ³東大・大気海洋アライアンス)

P-103 黄砂が呼吸器・免疫系に及ぼす影響

○松田 悠吾¹, 本田 晶子¹, 村山 留美子¹, 辻 堅志¹, 西川 雅高², 小池 英子², 吉田 成一³, 市瀬 孝道³, 高野 裕久¹
(¹京大院・工, ²国立環境研, ³大分県立看護科学大・看護)

P-104 愛知県における海産魚中の総水銀のモニタリング結果について

○大野 春香, 井上 知美, 渡邊 美奈恵, 上野 英二, 猪飼 誉友, 森下 智雄 (愛知県衛生研)

P-105 環境中の医薬品類の Fe^{3+} - H_2O_2 混合試薬による化学分解—医療廃液中のタミフル (oseltamivir phosphate) の分解—

○三野 芳紀, 林 大喜, 藤田 紀子, 東 剛志, 佐藤 卓史 (大阪薬大)

P-106 リボース -5- リン酸による亜ヒ酸の毒性軽減作用

○高橋 勉, 佐竹 翔平, 永沼 章 (東北大院・薬)

P-107 タイ住民を対象とした多環芳香族炭化水素キノン誘導体の尿中代謝物測定

○旭 美樹¹, 細住 智恵美¹, 鳥羽 陽¹, Thaneeya Chetiyankul², 唐 寧³, 亀田 貴之¹, 早川 和一¹ (¹金沢大・薬, ²タイ・チェンマイ大・理, ³兵庫医大)

P-108 国内各地を対象としたトータルダイエットスタディによる食品由来の放射性核種の曝露量評価

○杉山 英男¹, 寺田 宙², 小谷野 道子², 飯島 育代³, 三宅 定明⁴, 磯村 公郎⁵ (¹帝京平成大・薬, ²国立保健医療科学院, ³神奈川県衛生研, ⁴埼玉県衛生研, ⁵元兵庫県立健康生活科学研)

P-109 Purinergic signaling を介したクッパー細胞でのナノシリカ粒子による IL-1beta の誘導

○根岸 祐介¹, 月本 光俊¹, 武之内 敬人², 木谷 裕², 原田 均³, 武田 健⁴, 小島 周二¹ (¹東京理大院・薬・放射線生命科学, ²農生研・動物生体防御ユニット, ³鈴鹿医療大・薬, ⁴東京理大院・薬・衛生化学)

P-110 日本海沿岸 3 地点における大気粉塵の化学成分の年内変動

長谷井 友尋¹, ○クウリバリ スレイマン¹, 高橋 亮平¹, 藤田 浩祐¹, 貴志 茜衣¹, 坂本 みずほ¹, 松井 元希¹, 池盛 文数², 盛山 哲郎³, 木戸 瑞佳⁴, 世良 暢之⁵, 船坂 邦弘⁶, 浅川 大地⁶, 若林 敬二^{1,7}, 渡部 仁成⁸, 渡辺 徹志¹ (¹京都薬大, ²名古屋市環境科学調査セ, ³鳥取県衛環研, ⁴富山県環境科学セ, ⁵福岡県保環研, ⁶大阪市環科研, ⁷静岡県大, ⁸鳥取大)

P-111 室内空气中総揮発性有機化合物の構成成分に関する研究

○香川(田中) 聡子, 岡元 陽子, 五十嵐 良明, 神野 透人 (国立医薬品食品衛生研)

P-112 胎児期における有機フッ素化合物 *N*-EtFOSE 曝露による胎盤遺伝子発現量変化

○坂 晋, 横山 聡, 松岡 道美, 里見 佳子, 原田 均, 井上 純子,
大西 志保, 川西 正祐 (鈴鹿医療大・薬)

P-113 フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP) がアレルギー性鼻炎にあたえる影響

○市瀬 孝道¹, 賀 森¹, 吉田 成一¹, 高野 裕久²
(¹大分県立看護科学大・看護, ²京大院・薬)

P-114 国内産野生キノコの放射性セシウムの濃度実態

○寺田 宙¹, 加藤 文男², 柴田 尚³, 小林 淳⁴, 小谷野 道子¹,
杉山 英男⁵ (¹保健医療科学院, ²東邦大・薬, ³山梨県森林総研, ⁴日獣大・獣医,
⁵帝京平成大・健康メデイカル)

P-115 漂流・漂着プラスチックから発生する化学物質とその毒性

○秋山 翼^{1a}, 佐藤 秀人^{1b}, 岡部 顕史^{1b}, 山本 和清^{1b}, 登川 幸生^{1b},
宮崎 渉^{1b}, 鄭 宣龍², 楠井 隆史³, 道祖土 勝彦^{1c} (^{1a}日大・理工・院,
^{1b}日大・理工, ^{1c}日大・薬, ²韓国・全南大・工, ³富山県大・工)

P-116 医薬品粉じんによる薬局内作業環境場の汚染状況調査

○前田 志津子¹, 杉原 数美¹, 西谷 洋平¹, 田山 剛崇¹, 佐々木 拓也²,
三田 将史², 塚本 豊久¹
(¹広島国際大・薬, ²マイライフ(株) オール薬局)

発がん性物質**P-117** マウスにおける 4-(hydroxymethylnitrosamino)- 1-(3-pyridyl) - 1-butanone glucuronide 生成と体内動態

○西山 貴仁, 栗山 亜依, 宮本 千佳, 大沼 友和, 小倉 健一郎, 平塚 明
(東京薬大・薬)

P-118 発がん性ピロガロールによる酸化的 DNA 損傷

○大西 志保, 辻 泰至, 原田 均, 里見 佳子, 川西 正祐 (鈴鹿医療大・薬)

P-119 カーボンナノチューブによる細胞内ニトロ化 DNA 損傷

○平工 雄介¹, グオ フェイイエ¹, 馬 寧², 川西 正祐³, 村田 真理子¹
(¹三重大院・医, ²鈴鹿医療大・保健衛生, ³鈴鹿医療大・薬)

脳・神経毒性物質

P-120 アミロイドβタンパク質の脳室内投与による認知症周辺症状モデルの確立

○井出 和希, 高田 俊介, 玉野 春南, 奥 直人, 武田 厚司 (静岡県大・薬)

P-121 ロテノン誘発グルタミン酸上昇に対する細胞応答メカニズムの解明

○山本 智美¹, 古武 弥一郎^{1,2}, 足立 暁¹, 河野 幸太², 太田 茂^{1,2}
(¹広島大・薬, ²広島大院・医歯薬)

P-122 Perfluorooctane sulfonate (PFOS) 長期曝露による *in vitro* 及び *in vivo* GluR2 発現減少

○津山 由美¹, 古武 弥一郎^{1,2}, 杉山 千尋¹, 瀧下 智子², 佐能 正剛^{1,2}, 太田 茂^{1,2} (¹広島大・薬, ²広島大院・医歯薬)

P-123 マイクロアレイと遺伝子アノテーションを用いたレチノールおよびサリドマイドの発生毒性評価

○梅澤 雅和¹, 末成 由美², 柳田 信也^{1,3}, 立花 研^{1,2}, 武田 健^{1,2}
(¹東京理大・総研・環境次世代, ²東京理大・薬, ³東京理大・理工)

P-124 神経発達期の PolyI:C 投与により惹起される行動障害におけるプロスタグランジン E2 の関与

○肥田 裕丈¹, 毛利 彰宏¹, 古屋敷 智之², 鈴木 守人¹, 鵜飼 麻由¹, 谷口 将之¹, 山田 清文³, 尾崎 紀夫⁴, 成宮 周², 鍋島 俊隆¹, 野田 幸裕¹ (¹名城大・薬, ²京大院・医, ³名古屋大院・医・医療薬学, ⁴名古屋大院・医・精神医学)

P-125 生後発達期における母子分離・隔離飼育に対する脆弱性は成熟後の行動異常の原因となる

○松本 友里恵^{1,2}, 丹羽 美苗^{1,2}, 毛利 彰宏¹, 尾崎 紀夫², 野田 幸裕¹, 鍋島 俊隆¹ (¹名城大・薬, ²名古屋大院・医)

P-126 マウスの発達過程におけるグリア型グルタミン酸トランスポーター阻害による神経毒性は成体期の認知機能を障害する

○野田 幸裕¹, 谷口 将之¹, 肥田 裕丈¹, 荻野 由里恵¹, 鵜飼 麻由¹, 山田 清文², 尾崎 紀夫³, 田中 光一⁴, 毛利 彰宏¹, 鍋島 俊隆¹
(¹名城大・薬, ²名古屋大院・医・医療薬学, ³名古屋大院・医・精神医学, ⁴東京医歯大院・疾患生命科学)

P-127 3,4-Methylenedioxymethamphetamine (MDMA) による精神毒性発現における脳由来神経栄養因子 (BDNF) の関与

○毛利 彰宏¹, 野田 幸裕¹, 松本 友里恵¹, 丹羽 美苗¹, 新田 淳美², 山田 清文³, 古川 照栄⁴, 鍋島 俊隆¹
(¹名城大・薬, ²富山大院・薬, ³名古屋大院・医・医療薬学, ⁴岐阜薬大)

P-128 フェノバルビタールによる脳内解毒酵素の発現変動－UDP-グルクロン酸転移酵素の変動－

○榊原 有季子, 加藤 美紀, 近藤 裕也, 灘井 雅行 (名城大・薬)

P-129 健常人の精神運動機能に対する抗ヒスタミン薬の影響

○亀井 浩行¹, 半谷 眞七子¹, 野田 幸裕¹, 石川 和宏², 千崎 康司², 山田 清文², 鍋島 俊隆¹ (¹名城大・薬, ²名古屋大院・医)

P-130 コレシストキニンシステムは心理的ストレス負荷誘発行動障害を緩解する

○間宮 隆吉, 大橋 玄季, 鶴岡 裕生, 宮村 美嵩, 古関 竹直, 毛利 彰宏, 鍋島 俊隆, 平松 正行 (名城大・薬)

内分泌攪乱化学物質

P-131 ダイオキシン母体曝露による脳下垂体ホルモンへの影響：ダイオキシン種および動物種間の比較検討

○田浦 順樹¹, 武田 知起¹, 藤井 美彩紀¹, 石井 祐次¹, 月森 清巳², 内 博史³, 黒木 広明⁴, 古江 増隆³, 山田 英之¹
(¹九大院・薬, ²福岡市立こども病院, ³九大病院, ⁴第一薬大)

P-132 2,2',4,5'-Tetrabromobiphenyl (BB49) の動物及びヒト肝ミクロソームによる代謝

○山田 明史, 中井 ひとみ, 中村 仁美, 戸田 晶久, 井本 真澄, 黒木 広明 (第一薬大)

P-133 2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo-*p*-dioxin による胎児・性ステロイド合成障害に対するチアミンの改善効果の検討

○藤木 章央, 古賀 貴之, 武田 知起, 石井 祐次, 山田 英之 (九大院・薬)

- P-134** 内分泌攪乱物質の経胎盤曝露が胎児脳下垂体 - 生殖腺軸に及ぼす影響
○武田 知起, 仮屋 蘭 侑大, 田浦 順樹, 石井 祐次, 山田 英之 (九大院・薬)
- P-135** ダイオキシンによる児の発育障害の機構：成長ホルモン、甲状腺ホルモンおよび糖質コルチコイド低下に着目した解析
○服部 友紀子, 武田 知起, 藤井 美彩紀, 石井 祐次, 山田 英之 (九大・薬)
- P-136** ダイオキシンが思春期ラットの肝臓メタボロームに及ぼす影響：ロイコトリエン B4 蓄積とその機構
○小宮 由季子¹, 木庭 彰彦¹, 武田 知起¹, 古賀 貴之¹, 石井 祐次¹, 菊田 安至², 内 博史³, 古江 増隆³, 山田 英之¹
(¹九大・薬, ²福山大・生命工学, ³九大病院)
- P-137** 環境化学物質による甲状腺ホルモン攪乱作用の *in vitro* および *in vivo* 評価
○松原 加奈¹, 中村 直樹¹, 佐能 正剛^{1,2}, 杉原 数美³, 浦丸 直人⁴, 北村 繁幸⁴, 宮川 信一⁵, 井口 泰泉⁵, 藤本 成明⁶, 太田 茂^{1,2}
(¹広島大・薬, ²広島大院・医歯薬, ³広島国際大・薬, ⁴日本薬大, ⁵岡崎統合バイオ, ⁶広島大・原医研)
- P-138** Diethylstilbestrol の胎児蓄積性と胎児エストロゲンシグナルかく乱作用
○松田 達弥, 吉川 紘, 西岡 康, 中西 剛, 永瀬 久光 (岐阜薬大)
- P-139** ヒト胎盤における有機スズ化合物のプロゲステロン産生への影響
○廣森 洋平^{1,2}, 由井 洋樹², 中西 剛², 永瀬 久光²
(¹金城学院大・薬, ²岐阜薬大)
- P-140** 大麻成分 Δ^9 -THC による内分泌攪乱：第 2 のエストロゲン受容体 (ER β) を介した新規メカニズム
○吉田 和貴¹, 竹田 修三¹, 西村 肇¹, 原田 麻里¹, 三好 弘子¹, 岡島 隼輔¹, 渡辺 和人², 荒牧 弘範¹ (¹第一薬大, ²北陸大・薬)

予防薬学

- P-141** セレン化合物によるヒト肺癌由来 A549 細胞の増殖抑制における細胞内グルタチオンの関与
○奥野 智史, 星出 大樹, 本多 絵梨, 北垣 亜由美, 荻野 泰史, 荒川 友博, 上野 仁 (摂南大・薬)
- P-142** フラボノイドのケルセチンはインターロイキンが誘導する骨吸収を抑制する
○金木 弘之, 桐生 道明, 羽鳥 晃一, 吉村 鮎美, 若林 希理恵, 井手 速雄 (東邦大・薬)
- P-143** 大学生の生活習慣と体力・運動能力との関連性に関する調査研究
○富永 壽人¹, 佐川 和則², 緒方 文彦¹, 川崎 直人^{1,2}
(¹近畿大・薬, ²近畿大・アンチエイジングセ)
- P-144** レチノイド処理したヒト表皮細胞の分化指標タンパク質の発現変化
○小森 悠, 佐々木 裕一, 高橋 典子 (星薬大・医薬研)
- P-145** アレルギー性接触皮膚炎におけるセレノメチオニンの抑制効果
○荒川 友博, 中山 静香, 吉井 友理絵, 荻野 泰史, 奥野 智史, 上野 仁 (摂南大・薬)
- P-146** リノール酸の過酸化物は血小板のアラキドン酸代謝を抑制する
○筋籠 拓也, 孝田 哲也, 佐久間 覚, 藤本 陽子 (大阪薬大)
- P-147** 3T3-L1 前駆脂肪細胞から成熟脂肪細胞への分化に対する抗精神病薬の影響
○孝田 哲也, 隅田 麻紀, 佐久間 覚, 藤本 陽子 (大阪薬大)

分析法

- P-148** アリストロキア酸の GC-MS 微量定量分析法の開発と応用
○山田 麻美¹, 原口 浩一¹, 太田 千穂², 古賀 信幸², 遠藤 哲也³, 原田 浩二⁴, 小泉 昭夫⁴
(¹第一薬大, ²中村学園大・栄養, ³北医療大・薬, ⁴京大院・医)

P-149 フッ素置換トルブタミド誘導体を用いた CYP2C9 多型検出法

○佐伯 憲一¹, 小島 恵理子², 五十鈴川 和人², 小松 一², 木村 和哲³
(¹金城学院大・薬, ²横浜薬大, ³名市大院・薬)

P-150 ダイエット健康食品中に添加された医薬品成分の分析

○山本 新也^{1,4}, 近藤 裕一¹, 墨岡 成治², 藤岡 正信², 棚橋 高志³,
三上 栄一³, 宮本 謙一⁴ (¹豊橋市保健所衛生試験所, ²豊橋市保健所,
³愛知県衛生研, ⁴金沢大院・医)

P-151 ジフェニルエチレンジアミン蛍光誘導体化によるカテキン類の HPLC 分析法の開発

○岸 智裕¹, 土井 絵里子¹, 安永 千穂¹, 出口 雄也¹, 長岡(浜野) 恵²,
長岡 寛明¹ (¹長崎国際大・薬, ²国立医薬品食品衛生研)

P-152 新規抗 MRSA 薬ダプトマイシンの生体試料中濃度測定法の確立

○安藤 基純¹, 北田 徳昭², 福島 昭二¹, 橋田 亨²
(¹神戸学院大・薬, ²神戸市立医療センター中央市民病院薬)

P-153 新規違法ドラッグ α -PVP の GC/MS 分析

○辻川 健治, 中園 裕紀子, 桑山 健次, 金森 達之, 岩田 祐子,
井上 博之 (科学警察研)

その他**P-154** 抗がん性白金錯体に対する卵巣がん細胞の耐性化と配位子の影響

○徐 佳典, 臼井 健悟, 林 香織, 村瀬 朱美, 植田 康次, 岡本 誉士典,
小嶋 伸夫 (名城大・薬)

P-155 マンガン神経毒性：カテコールアミン酸化と活性酸素生成における鉄との複合作用

○植田 康次, 武田 沙織, 星野 祐真, 岡本 誉士典, 小嶋 伸夫 (名城大・薬)

P-156 国際宇宙ステーション日本実験棟<きぼう>における細菌モニタリング

○山口 進康, 稗田 はつき, 石原 理絵, 一條 知昭, 那須 正夫 (阪大院・薬)

P-157 表面を修飾したナノポリスチレン粒子の薬物相互作用の検討

○野澤 健志, 磯田 勝広, 山本 峻大, 清水 芳実, 手塚 雅勝, 石田 功
(帝京平成大・薬)

P-158 ディーゼル排ガス胎仔期曝露が DNA メチル化に与える影響の網羅的解析

○秋本 純芽¹, 立花 研^{1,2}, 高柳 浩平¹, 上田 剛司¹, 新海 雄介¹,
武田 健^{1,2} (¹東京理大・薬, ²東京理大・総合研究機構・環境次世代健康科学研究セ)

P-159 60 kHz 中間周波磁界の鶏胚による発生毒性評価

○西村 泉, 根岸 正 (電力中央研・環境科学)

P-160 齧歯類における血清中セレンタンパク質の解析

○阿南 弥寿美, 畠山 佳子, 徳本 真紀, 小椋 康光 (昭和薬大)

P-161 居住環境および河川における非結核性抗酸菌の現存量

○一條 知昭¹, 中本 小百合¹, 菅田 真理², 山口 進康¹, 那須 正夫¹
(¹阪大院・薬, ²阪大・薬)

P-162 黄砂とともに飛来する細菌による健康影響評価を目的とした生活環境における大気中の細菌モニタリング

○馬場 貴志, 小玉 牧子, 朴 鐘旭, 山口 進康, 那須 正夫 (阪大院・薬)

P-163 非晶質ナノシリカによる細胞の遊走阻害

○太田 舞子¹, 小野寺 章¹, 宝諸 あい¹, 本間 安季¹, 石井 幸奈¹,
古田 拓也¹, 米村 重信², 堤 康央³, 河合 裕一¹
(¹神戸学院大・薬, ²理研 CDB, ³阪大院・薬)

P-164 骨転位モデル動物を用いた骨シンチグラフィ薬剤と FDG-PET のイメージングの比較

○小川 数馬¹, 小川 美香子², 鷲山 幸信¹, 間賀田 泰寛²
(¹金沢大・医薬保, ²浜松医科大・メディカルフォトニクス研)

P-165 *Microcystis* が放出する β -cyclocitral の特徴的な酸化挙動

○長谷川 真照¹, 有井 鈴江², 辻 清美³, 明壁 博彦², 富田 浩嗣⁴,
猪飼 誉友⁴, 原田 健一^{1,2}
(¹名城大院・総合学術, ²名城大・薬, ³神奈川県衛生研, ⁴愛知県衛生研)

P-166 新しいメチル化頻度プロファイリング法「MSD-AFLP 法」の開発

○相場 俊樹¹, 齋藤 俊行², 遠山 千春¹, 栗田 尚佳¹, 大迫 誠一郎¹
(¹東大院・医, ²放医研・重粒子)

P-167 Effects of 4-chlorotetrazolo[1,5-*a*]quinoxaline on mast cell activation and IgE-mediated anaphylaxis in mice

Young Mi Kim¹, Ki Hwa Chung¹, Hyuk Soon Kim², Do Kyun Kim², A-Ram Kim², Wahn Soo Choi² (¹Col. Pharm., Duksung Women's Univ., ²Dept. Immunol., Col. Med., Konkuk Univ.)

P-168 Effects of *Ecklonia stolonifera* on acute alcohol-induced hepatotoxicity in mice

Chae Young Bang¹, Jung Hwan Kang², Jae Su Choi³, Se Young Choung^{1,2}
(¹Dept. Prev. Pharm. Toxicol., Col. Pharm., Kyung Hee Univ., ²Dept. Life Nanopharm. Sci. Pharm., Kyung Hee Univ., ³Dept. Food Sci. Nutr., Pukyong Natl. Univ.)

P-169 Effect of oyster hydrolysate on blood pressure in stroke-prone spontaneously hypertensive rats (SHRSPs)

Chae Young Bang¹, Eun-Hyeong Shim², Andre Kim³, Jong-Myung Ha³, Young Jun Choi⁴, Se Young Choung^{1,2†} (¹Dept. Prev. Pharm. Toxicol., Col. Pharm., Kyung Hee Univ., ²Dept. Life Nanopharm. Sci. Pharm., Kyung Hee Univ., ³Dept. Pharm. Eng., Col. Med. Life Sci., Silla Univ., ⁴Dept. Seafood Sci. Technol., Inst. Marine Industry, Gyeongsang Natl. Univ.)

P-170 *Paeonia suffruticosa* の根皮由来のカテキンによる胃の保護および抗癌作用

○Joohee Jung, In Young Hwang, Choon-Sik Jeong (韓国徳成女大・薬)

P-171 Assessment of metabolism-dependent cytochrome P450 inhibition

Ji-Yoon Lee, Sang Yoon Lee, Jang-soo Jeon, Bong Hee Kim, Sang Kyum Kim
(Col. Pharm., Chungnam Natl. Univ.)

- P-172** Expression of antioxidant enzymes during estrous cycle in rat liver and ovary
Sang Yoon Lee, Ji-Yoon Lee, Jang-soo Jeon, Bong Hee Kim, Sang Kyum Kim (Col. Pharm., Chungnam Natl. Univ.)
- P-173** Effects of palmitic acid on TNF- α -induced cytotoxicity in SK-Hep-1 cells
Jung-Min Oh, Bong-Hee Kim, Sang-Kyum Kim (Col. Pharm., Chungnam Natl. Univ.)
- P-174** Immunomodulatory activity of the fructus of *Magnolia denudate*
Myoung-Yun Pyo¹, Soo-jeong Yoon¹, Soon-Rye Kim¹, Hwa-Hyun Jeong¹, Suk-kyung Ko², Mirim Jin³, Mihi Yang¹ (¹Col. Pharm., Sookmyung Women's Univ., ²Seoul Metropolitan Gov. Res. Inst. Public Health Environ., ³Col. Oriental Med., Daejeon Univ.)
- P-175** Antioxidative and epigenetic effects of blueberry (*Vaccinium corymbosum*) in human
○ Myoung-yun Pyo, Mihi Yang (Col. Pharm., Sookmyung Women's Univ.)
- P-176** Combined 5-FU and WK5, herbal immune-stimulator synergistically increased antitumor activity
Bindu Malla, Bo Yoon Chang, Sung Yeon Kim (Col. Pharm., Wonkwang Univ.)
- P-177** Disclosure of new effects in Kudzu vine
Eunbyeol Han, Sung Yeon Kim (Col. Pharm., Wonkwang Univ.)
- P-178** New strategy for infectious diseases according to climate change
Bo Yoon Chang, Sung Yeon Kim (Col. Pharm., Wonkwang Univ.)
- P-179** EW-7197, a novel ALK5 inhibitor inhibited lung metastasis of breast cancer cells both *in vitro* and mouse model *in vivo*
Kim Seung W, Kim Sol J, Park Sang A, Kim Min J, Son Jee Y, Kim Dae-Kee, Sheen Yhun Yhong (Ewha Womans Univ., Col. Pharm.)

P-180 Acceleration of liver regeneration by betaine administration via its effect on hepatic transsulfuration reactions

○ Chul Won Ahn, Doo Sung Jun, Young Suk Jung, Sun Ju Kim, Young Chul Kim (Col. Pharm., Seoul Natl. Univ.)

環境・衛生部会委員会拡大会議

10月25日(木) 12:10～13:10

会場 A会場(名古屋観光ホテル3階 那古の間-東)

懇親会

10月25日(木) 18:30～20:30

会場 懇親会会場(名古屋観光ホテル3階 那古の間-西)

環境・衛生部会学術賞	授賞式
環境・衛生部会賞・金原賞	授賞式
優秀若手研究者賞	受賞者発表・授賞式
実行委員長賞	受賞者発表・授賞式
環境・衛生部会新人賞	受賞者発表・授賞式

Educational Lecture

Room A

October 25 (Thu) 14 : 10 ~ 15 : 10

Chairperson : Shigeru Ohta (Grad. Sch. Biomed. Health Sci., Hiroshima Univ.)

***EL-1* How you should progress your research to realize your dreams?**

Toshitaka Nabeshima

Dept. Regional Pharm. Care Sci., Fac. Pharm., Meijo Univ.

Plenary Lectures

Room A

October 25 (Thu) 11 : 00 ~ 12 : 00

Chairperson : Toshiyuki Kaji (Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci.)

***PL-1* Regulation of oxidative stress and healthy aging**

Toshihiko Osawa

Dept. Health Nutr., Fac. Psychol. Phys. Sci., Aichi Gakuin Univ.

October 26 (Fri) 10 : 50 ~ 11 : 50

Chairperson : Nakao Kojima (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

***PL-2* Perspectives of disease-modifying (molecular targeted) therapy for neurodegenerative disease**

Gen Sobue

Dept. Neurol., Nagoya Univ. Grad. Sch. Med.

October 25 (Thu) 15 : 10 ~ 15 : 40

Chairperson : Yoshito Kumagai (Environ. Med. Sect., Fac. Med., Univ. Tsukuba)

***IL-1* Significance of changes in the metabolomics of sulfur-containing substances during liver regeneration: Acceleration of liver recovery after partial hepatectomy by betaine**

Young Chul Kim

Col. Pharm., Seoul Natl. Univ.

Scientific Award

October 26 (Fri) 14 : 00 ~ 14 : 30

Chairperson : Akira Naganuma (Grad. Sch. Pharm. Sci., Tohoku Univ.)

***AL1-1* Studies on biological significance of metallothionein in environmental health sciences**

Masahiko Satoh Sch. Pharm., Aichi Gakuin Univ.

Active Research Award and Kanehara Award

October 26 (Fri) 14 : 30 ~ 14 : 50

Chairperson : Yayoi Kobayashi (Cent. Environ. Health Sci., Natl. Inst. Environ. Studies)

***AL2-1* Analysis of selenium metabolism in animals based on speciation of selenometabolites**

Yasumi Anan Showa Pharm. Univ.

October 26 (Fri) 14 : 50 ~ 15 : 10

Chairperson : Seiichiro Himeno (Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.)

***AL2-2* Study on molecular mechanisms of cadmium transport**

Hitomi Fujishiro Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.

October 25 (Thu) 8:50 ~ 10:50

Role of environmental factors in neurodegeneration and possible preventive therapy

Chairpersons : Wakako Maruyama (Cogn. Brain Sci., Natl. Cent. Geriatr. Gerontol.)
Yaichiro Kotake (Grad. Sch. Biomed. Health Sci., Hiroshima Univ.)

***F1-1* Can environmental factors intervene age-related neurodegenerative disorders, which cause dementia in aged?**

- Wakako Maruyama
Cogn. Brain Sci., Natl. Cent. Geriatr. Gerontol.

***F1-2* Potential effects of physical activity for preventing Alzheimer's disease**

- Hiroyuki Shimada, Takao Suzuki
Cent. Gerontol. Social Sci., Natl. Cent. Geriatr. Gerontol.

***F1-3* Possible anti-dementia effect of food-derived factors**

- Masayo Shamoto-Nagai¹, Makoto Naoi², Wakako Maruyama¹
¹ Cogn. Brain Sci., Natl. Cent. Geriatr. Gerontol., ² Dept. Health Nutr.,
Fac. Psychol. Phys. Sci., Aichi Gakuin Univ.

***F1-4* Polyunsaturated fatty acids induces the neurodegenerative disorder through oxidative stress**

- Shinsuke Hisaka¹, Yoshimi Hayashi², Hiroyasu Akatsu³, Masayo Shamoto-Nagai^{4,5}, Yoji Kato⁶, Mitsuhiko Nose¹, Wakako Maruyama⁴,
Toshihiko Osawa⁷
¹Fac. Pharm., Meijo Univ., ²Nagoya Univ., ³Fukushima Hosp., ⁴Natl. Cent. Geriatr. Gerontol., ⁵JSPS Res. Fellow, ⁶Univ. Hyogo, ⁷ Fac. Psychol. Phys. Sci., Aichi Gakuin Univ.

***F1-5* Parkinson's disease-related substance-induced neurotoxic mechanisms**

- Yaichiro Kotake, Ryuki Kohta, Masatsugu Miyara, Shigeru Ohta
Grad. Sch. Biomed. Health Sci., Hiroshima Univ.

***F1-6* Effects of neonicotinoid and organophosphate pesticides on developing brain**

- Junko Kimura-Kuroda, Yukari Komuta, Hitoshi Kawano
Dept. Brain Dev. Neural Regen., Tokyo Med. Inst. Med. Sci.

October 25 (Thu) 15 : 50 ~ 17 : 30

Diverse physiological functions of foods for human health and longevity

Chairpersons : Hajime Mizukami (Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ.)
Tomoyuki Shirai (Nagoya City Rehabil. Cent.)

***F2-1* Preventive effects of tea catechins on lifestyle-related diseases and development of FOSHU**

- Takami Kakuda^{1,2}, Ikuo Ikeda³
¹R&D Div., Itoen, Ltd., ²Res. Cent. Composite Material, Fukuoka Univ.,
³Grad. Sch. Agric. Sci., Tohoku Univ.

***F2-2* A noble therapy for heart failure using a dietary compound curcumin**

- Tatsuya Morimoto¹, Koji Hasegawa²
¹Fac. Pharm., Univ. Shizuoka, ²Kyoto Med. Cent.

***F2-3* Food factors as prostate cancer risk and prostate cancer prevention1**

- Tomoyuki Shirai
Nagoya City Rehabil. Cent.

***F2-4* Scientific substantiation of health claim on food and the international comparison**

- Toshio Shimizu
Fac. Health Human Life, Nagoya-bunri Univ.

October 26 (Fri) 9:00 ~ 10:40

DNA damage and carcinogenesis by chemicals and radiation

Chairpersons : Shosuke Kawanishi (Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)
Morio Nakayama (Grad. Sch. Biomed. Sci., Nagasaki Univ.)

***F3-1* Threshold of chemical carcinogens and its risk assessment**

- Shoji Fukushima¹, Min Wei², Anna Kakehashi², Hideki Wanibuchi²
¹ Japan Bioassay Res. Cent., Japan Ind. Safety Health Assoc.,
² Dept. Pathol., Grad. Sch. Med. Osaka City Univ.

***F3-2* DNA damage response and mechanism of radiation carcinogenesis**

- Keiji Suzuki¹, Shunichi Yamashita^{1,2}
¹ Grad. Sch. Biomed. Sci., Nagasaki Univ., ² Fukushima Med. Sch.

***F3-3* Carcinogenic mechanisms of fibrous nanomaterials**

- Shinya Toyokuni
Dept. Pathol. Biol. Res., Grad. Sch. Med., Nagoya Univ.

***F3-4* Oxidative and nitrative DNA damage in relation to carcinogenesis of chemical compounds, inflammation and radiation**

- Shosuke Kawanishi
Fac. Pharm., Suzuka Univ. Med. Sci.

October 26 (Fri) 15 : 20 ~ 17 : 00

Modulation of life program through interaction of stem cells and chemicals

Chairpersons : Tatsuyuki Takada (Fac. Pharm., Ritsumeikan Univ.)
Yoshinori Okamoto (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

***F4-1* Embryology of ascidians: Possible animal model for eco-devo studies**

○ Shigeki Fujiwara¹, Yasunori Sasakura², Miyuki Kanda¹

¹Fac. Sci., Kochi Univ., ²Shimoda Marine Res. Cent., Univ. Tsukuba

***F4-2* Estrogen-induced signalings during the fetal period and sex differentiation in the brain**

○ Tsuyoshi Nakanishi, Hisamitsu Nagase

Gifu Pharm. Univ.

***F4-3* Bisphenol A modulates on germ cell differentiation of ES cell**

○ Tatsuyuki Takada

Fac. Pharm., Ritsumeikan Univ.

***F4-4* DNA damage of stem cells induced by chemical carcinogens and influence against undifferentiation state**

○ Yoshinori Okamoto, Nakao Kojima

Fac. Pharm., Meijo Univ.

Candidates for Young Investigator Award and Chief Organizer Award

***P-021* Identification of protein targets for methylmercury: S-Mercuration of UCH-L1, resulting in reduction of its catalytic activity, thereby modulating cellular monoubiquitin levels**

○ Yuko Katayama¹, Takashi Toyama², Yoshito Kumagai^{1,3} (¹Grad. Sch. Life Environ. Sci., Univ. Tsukuba, ²Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ³Fac. of Med., Univ. Tsukuba)

***P-022* Role of ubiquitin ligase FBXO6 as a reduction factor of the cadmium-induced endoplasmic reticulum stress**

○ Ke Du, Gi-wook Hwang, Akira Naganuma (Grad. Sch. Pharm. Sci., Tohoku Univ.)

***P-026* Protective effects of manganese on cadmium cytotoxicity in vascular endothelial cells**

○ Reika Ando¹, Chika Yamamoto², Yasunobu Aoki³, Toshiyuki Kaji¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ²Fac. Pharm. Sci., Hokuriku Univ., ³Cent. Environ. Risk Res., NIES)

***P-060* Role of type II PAF acetylhydrolase in FcεRI-mediated mast cell signaling**

○ Yuta Shimanaka¹, Nozomu Kono¹, Yoshitaka Taketomi², Kojiro Mukai¹, Makoto Murakami², Hiroyuki Arai¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Univ. Tokyo, ²Tokyo Metropolitan Inst. Med. Sci.)

***P-099* Concentration-dependent endoplasmic reticulum stress mechanism by tributyltin**

○ Midori Isomura¹, Yaichiro Kotake^{1,2}, Kyouichi Masuda¹, Shigeyoshi Samizo², Shigeru Ohta^{1,2} (¹Fac. Pharm. Sci., Hiroshima Univ., ²Grad. Sch. Biomed. Sci., Hiroshima Univ.)

***P-103* Effects of Asian sand dust particles on the respiratory and immune system**

○ Yugo Matsuda¹, Akiko Honda¹, Rumiko Murayama¹, Kenshi Tsuji¹, Masataka Nishikawa², Eiko Koike², Seiichi Yoshida³, Takamichi Ichinose³, Hirohisa Takano¹ (¹Grad. Sch. Eng., Kyoto Univ., ²Natl. Inst. Environ. Stud., ³Oita Univ. Nurs. Health Sci.)

***P-122* In vitro and in vivo GluR2 reduction induced by long-term exposure of perfluorooctane sulfonate (PFOS)**

○ Yumi Tsuyama¹, Yaichiro Kotake^{1,2}, Chihiro Sugiyama¹, Tomoko Takishita², Seigo Sanoh^{1,2}, Shigeru Ohta^{1,2} (¹Fac. Pharm. Sci., Hiroshima Univ., ²Grad. Sch. Biomed. Health Sci., Hiroshima Univ.)

***P-131* The effect of maternal exposure to dioxins on pituitary hormones: A comparative study between different dioxins and animal species**

○ Junki Taura¹, Tomoki Takeda¹, Misaki Fujii¹, Yuji Ishii¹, Kiyomi Tsukimori², Hiroshi Uchi³, Hiroaki Kuroki⁴, Masutaka Furue³, Hideyuki Yamada¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyushu Univ., ²Fukuoka Children's Hosp., ³Kyushu Univ. Hosp., ⁴Daiichi Col. Pharm. Sci.)

***P-166* Development of a novel profiling method for genomic DNA methylation frequencies “MSD-AFLP”**

○ Toshiki Aiba¹, Toshiyuki Saito², Chiharu Tohyama¹, Hisaka Kurita¹, Ohsako Seiichiroh¹ (¹ Univ. Tokyo, ² Natl. Inst. Radiol. Sci.)

***P-181* Evidence for S-transmercuration of cellular proteins by methylmercury-SG adduct**

○ Eiko Yoshida¹, Yoshito Kumagai^{1,2} (¹Grad. Sch. Comp. Human Sci., Univ. Tsukuba, ²Fac. Med., Univ. Tsukuba)

Candidates for Specialty Section Student Award

***P-008* Development of novel absorbent recognizing the dipole moment and its application to the analyses of residual pesticides and veterinary drugs**

○ Shiho Suzuki¹, Toshio Miwa¹, Atsushi Yamamoto¹, Isao Saito², Yoshinori Inoue³, Mitsuru Saito³ (¹Col. Biosci. Biotechnol., Chubu Univ., ²Aichi Sci. Technol. Foundation, ³Nippon Filcon Co. Ltd.)

***P-107* Determination of a metabolite of polycyclic aromatic hydrocarbon quinone derivatives in urine samples from Thai residents**

○ Miki Asahi¹, Chiemi Hosozumi¹, Akira Toriba¹, Thaneeya Chetianukornkul², Ning Tang³, Takayuki Kameda¹, Kazuichi Hayakawa¹ (¹Sch. Pharm., Kanazawa Univ., ²Fac. Sci., Chiang Mai Univ., Thailand, ³Hyogo Col. Med.)

***P-135* A mechanism underlying the dioxin-produced retardation of growth:
An analysis focusing on a reduction in growth hormone, thyroid
hormone and glucocorticoid in fetuses and infants**

○ Yukiko Hattori, Tomoki Takeda, Misaki Fujii, Yuji Ishii, Hideyuki Yamada (Fac. Pharm. Sci., Kyushu Univ.)

***P-136* The effect of dioxin on the hepatic metabolome in male pubertal rats:
The accumulation of leukotriene B4 and its mechanism**

○ Yukiko Komiya¹, Akihiko Koba¹, Tomoki Takeda¹, Takayuki Koga¹, Yuji Ishii¹, Yasushi Kikuta², Hiroshi Uchi³, Masutaka Furue³, Hideyuki Yamada¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Kyushu Univ., ²Fac. Life Sci. Biotech., Fukuyama Univ., ³Kyushu Univ. Hosp.)

***P-138* Exposure of diethylstilbestrol to pregnant mice causes its fetal
accumulation and subsequently disrupts estrogenic signaling in the
fetus**

○ Tatsuya Matsuda, Hiroshi Yoshikawa, Yasushi Nishioka, Tsuyoshi Nakanishi, Hisamitsu Nagase (Gifu Pharm. Univ.)

***P-140* A major marijuana constituent Δ^9 -THC-mediated endocrine
disruption: A new mechanism via ER β , a second estrogen receptor**

○ Kazutaka Yoshida¹, Shuso Takeda¹, Hajime Nishimura¹, Mari Harada¹, Hiroko Miyoshi¹, Shunsuke Okajima¹, Kazuhito Watanabe², Hironori Aramaki¹ (¹Daiichi Univ. Pharm., ²Hokuriku Univ. Pharm.)

October 25 (Thu) 15:20 ~ 16:10

Session 1 Metals1

Chairpersons : Masahiko Satoh (Sch. Pharm., Aichi Gakuin Univ.)
Tomoki Kimura (Fac. Pharm. Sci., Setsunan Univ.)

15:20 - 15:30

O1-1 The regulation of PI3K/Akt/CREB signaling through covalent modification of methylmercury

○ Takashi Toyama¹, Takashi Uehara², Toshiyuki Kaji¹, Yoshito Kumagai³ (¹Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ²Grad. Sch. of Med. Dent. Pharm. Sci., Okayama Univ., ³Fac. Med., Univ. Tsukuba)

15:30 - 15:40

O1-2 Nucleotide sequence and expression of the organomercurial-resistance determinants from a *Pseudomonas* K-62 plasmid pMR68

○ Masako Kiyono¹, Yuka Sone¹, Ryosuke Nakamura¹, Hidemitsu Pan-Hou² (¹Sch. Pharm., Kitasato Univ., ²Fac. Pharm. Sci., Setsunan Univ.)

15:40 - 15:50

O1-3 Time course changes in methylmercury uptake to the rat brain at various growth phases from fetus to adult

○ Mineshi Sakamoto, Nakano Atsuhiko (Epidemiol., Natl. Inst. Minamata Disease)

15:50 - 16:00

O1-4 An investigation of proteins participating in retention of selenium in the brain

○ Sakiko Ura, Mamoru Haratake, Takeshi Fuchigami, Morio Nakayama (Grad. Sch. Biomed. Sci., Nagasaki Univ.)

16:00 - 16:10

O1-5 Roles of DMT1 and ZIP14 in the transport of cadmium in Caco-2 cells

○ Hitomi Fujishiro, Rina Tanaka, Seiichiro Himeno (Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.)

October 25 (Thu) 16:10 ~ 17:10

Session 2 Metals 2 · Oxidative stress 1

Chairpersons : Masako Kiyono (Sch. Pharm., Kitasato Univ.)
Shiho Ohnishi (Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)

16:10 - 16:20

O2-1 Arsenite retards the cardiac differentiation of rat myoblast H9c2 cells

○ Daigo Sumi, Kazusa Abe, Seiichiro Himeno (Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.)

16:20 - 16:30

O2-2 Molecular targets for non-DNA-binding anticancer Pt and Pd complexes

○ Akira Odani, Kazuma Ogawa, Tatsuto Kiwada, Hiroshi Takayama, Mami Takemori, Yuki Matsuoka (Div. Pharm. Sci., Grad. Sch. Med. Sci., Kanazawa Univ.)

16:30 - 16:40

O2-3 Protective effect of uric acid through the regulation of redox balance against LPS-induced brain injury

○ Satoshi Watanabe, Junki Kayaki, Yuki Kobayashi, Miteki Matsuki, Eriko Matsuo, Tetsuya Fukui (Fac. Pharm. Sci., Hoshi Univ.)

16:40 - 16:50

O2-4 Disruption of PHGPx induced the lipid peroxidation-dependent novel cell death in MEF cells

○ Hirotaka Imai¹, Masaki Matsuoka^{1,2}, Shinsaku Harada¹, Hiroyuki Arai², Yasuhito Nakagawa¹ (¹Sch. Pharm. Sci., Kitasato Univ., ²Univ. Tokyo)

16:50 - 17:00

O2-5 Protective involvement of multidrug resistance-associated protein 1 in glycolaldehyde-induced cell death

○ Keisuke Sato, Kaori Yama, Ryosuke Tatsunami, Yoshiko Tampo (Sch. Pharm. Hokkaido Pharm. Univ.)

17:00 - 17:10

O2-6 Molecular imaging of oral injected nitroxyl probes into the stomach using circular-transport overhauser-enhanced MRI

○ Shinji Ito¹, Keiji Yasukawa^{1,2}, Tatsuya Naganuma³, Kazuhiro Ichikawa¹, Hideo Utsumi¹, Fuminori Hyodo¹ (¹ Innov. Cent. Med. Redox Navigation, Kyushu Univ., ² Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyushu Univ., ³ Japan Redox Ltd.)

Oral Sessions

Room B

October 25 (Thu) 17 : 10 ~ 18 : 10

Session 3 Oxidative stress 2 · Neural toxicity

Chairpersons : Hiroataka Imai (Sch. Pharm. Sci., Kitasato Univ.)
Akihiro Mouri (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

17:10 - 17:20

O3-1 Production of reactive oxygen species and role of peroxiredoxin in response to metabolic changes

○ Toshihiko Watanabe, Hayato Irokawa, Shusuke Kuge (Tohoku Pharm. Univ.)

17:20 - 17:30

O3-2 Peroxiredoxin mediated redox regulation of gluconeogenesis and oxidative stress response in yeast

○ Hayato Irokawa, Ayako Ogasawara, Toshihiko Watanabe, Takumi Ohdate, Kenta Iwai, Shusuke Kuge (Tohoku Pharm. Univ.)

17:30 - 17:40

O3-3 Effect of an anti-apoptotic protein Bag-1 on the ERK phosphorylation

○ Takumi Ohdate, Aya Tomoda, Takahiko Sasaki, Kenichiro Konno, Hiroaki Takano, Kenta Iwai, Shusuke Kuge (Tohoku Pharm. Univ.)

17:40 - 17:50

O3-4 Chronic exposure to low frequency noise at moderate levels causes impaired balance in mice

○ Nobutaka Ohgami, Haruka Tamura, Machiko Iida, Ichiro Yajima, Masashi Kato (Dept. Biomed. Sci., Chubu Univ.)

17:50 - 18:00

O3-5 Structural requirement of cannabidiol for the inhibition of CYP2C19

○ Rongrong Jiang¹, Satoshi Yamaori¹, Ikuo Yamamoto², Kazuhito Watanabe¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Hokuriku Univ., ²Fac. Pharm. Sci., Kyushu Univ. Health Welfare)

18:00 - 18:10

O3-6 Overexpression of shati in the nucleus accumbens suppresses toxicity of methamphetamine via via metabotropic glutamate receptor 3 in mice

○ Atsumi Nitta¹, Yudai Ishikawa¹, Kazuyuki Sumi¹, Noriyuki Iegaki¹, Yoko Hibi², Shin-ichi Muramatsu³, Kyosuke Uno¹, Toshitaka Nabeshima⁴, Yoshiaki Miyamoto¹ (¹Grad. Sch. Med., Pharm. Sci. Univ. Toyama, ²Dept. Neuropsychopharm. Hosp. Pharm., Nagoya Univ. Hosp., ³Div. Neurol., Dept. Med., Jichi Med. Univ., ⁴Dept. Regional Pharm. Care Sci., Fac. Pharm., Meijo Univ.)

Oral Sessions

Room A

October 25 (Thu) 17 : 30 ~ 18 : 10

Session 4 Preventive pharmacology

Chairpersons : Shuntaro Hara (Sch. Pharm., Showa Univ.)
Chika Yamamoto (Dept. Pharm. Sci., Hokuriku Univ.)

17:30 - 17:40

O4-1 Influence of dietary vegetable oil on the life-span of stoke-prone spontaneously hypertensive rat (SHRSP) - Shorted life-span by canola oil ingestion and mechanisms underlying the effect -

○ Sayaka Kawamura¹, Yukiko Naito², Shigehiro Tachibana³, Sae Onoda¹, Naoki Ohara¹, Mai Yoshikawa¹, Madoka Niimi¹, Maho Kawaguchi¹, Daisuke Miyazawa¹, Yuko Yasui¹, Kazuyo Yamada¹, Harumi Okuyama¹ (¹Kinjo Gakuin Univ., ²NCVC, ³FDSC)

17:40 - 17:50

O4-2 Interaction analysis between testosterone and metallothionein in high-fat diet-induced fatty liver

○ Takashige Kawakami, Hiroshi Nishikawa, Yoshito Kadota, Masao Sato, Shinya Suzuki (Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.)

17:50 - 18:00

O4-3 Effect of melatonin on osteoblast-induced regulation of osteoclast functions

○ Masaki Nishida, Hiroyuki Kaneki, Michiaki Kiriu, Hayao Ide (Sch. Pharm. Sci., Toho Univ.)

18:00 - 18:10

O4-4 Quercetin increases the expression of stimulators for osteoblast functions

○ Yu-uki Yamaguchi, Hiroyuki Kaneki, Masaki Nishida, Michiaki Kiriu, Hayao Ide (Sch. Pharm. Sci., Toho Univ.)

Oral Sessions

Room B

October 26 (Fri) 9 : 00 ~ 9 : 50

Session 5 Environmental pollutants 1

Chairpersons : Seiichiro Himeno (Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.)
Tomoki Takeda (Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyusyu Univ.)

9:00 - 9:10

O5-1 Photodegradation and phototoxicity of acetaminophen in aquatic environment

○ Kohei Kawabata¹, Yuichi Ogawa¹, Kazumi Sugihara^{1,2}, Seigo Sanoh¹, Shigeyuki Kitamura³, Shigeru Ohta¹ (¹Grad. Sch. Biomed. Health Sci., Hiroshima Univ., ²Hiroshima Int. Univ., ³Nihon Pharm. Univ.)

9:10 - 9:20

O5-2 Validity analysis of observed concentrations of oseltamivir, its active metabolite (oseltamivir carboxylate) and zanamivir in the water environment

○ Takashi Azuma^{1,2}, Norihide Nakada¹, Naoyuki Yamashita¹, Takaji Sato², Yoshiki Mino², Hiroaki Tanaka¹ (¹Res. Cent. Environ. Qual. Manage., Grad. Sch. Eng. Kyoto Univ., ²Grad. Sch. Pharm. Sci., Osaka Univ. Pharm. Sci.)

9:20 - 9:30

O5-3 Behavior of polycyclic aromatic hydrocarbons in the Japan-sea

○ Shota Yoshida¹, Yvonne Chondo¹, Ning Tang², Chun-Sang Hong¹, Akira Toriba¹, Takayuki Kameda¹, Kazuichi Hayakawa¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Kanazawa Univ., ²Hyogo Col. Med.)

9:30 - 9:40

O5-4 Atmospheric behaviors and causes of polycyclic aromatic hydrocarbons and nitropolycyclic aromatic hydrocarbons in east asian countries over the last 14 years

○ Chikako Suematsu¹, Ning Tang², Takayuki Kameda¹, Akira Toriba¹, Kazuichi Hayakawa¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Kanazawa Univ., ²Hyogo Col. Med.)

9:40 - 9:50

O5-5 On-site monitoring of *Legionella pneumophila* in cooling tower water with microfluidic system

Nobuyasu Yamaguchi, ○ Fumiya Banno, Kanya Muangkaew, Masao Nasu (Grad. Sch. Pharm. Sci., Osaka Univ.)

Oral Sessions

Room B

October 26 (Fri) 9 : 50 ~ 10 : 40

Session 6 Environmental pollutants 2 ·
Foods and pesticides · Carcinagens

Chairpersons : Daigo Sumi (Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.)
Yasuhiro Shinkai (Grad. Sch. Comp. Human Sci., Univ. Tsukuba)

9:50 - 10:00

O6-1 Effects of bacteria carried by asian sand dust on male reproductive function

○ Seiichi Yoshida¹, He Miao¹, Fumihisa Kobayashi², Takamichi Ichinose¹ (¹ Oita Univ. Nurs. Health Sci., ² Kanazawa Univ.)

10:00 - 10:10

O6-2 Formation of chloropropanols in foods used sucralose

○ Yuu Syoumura¹, Yoko Ota², Mikio Nakamura², Motoko Matsui¹, Kimiko Ohtani¹, Sadahiro Kawazoe^{1,3} (¹Grad. Sch. Life Environ. Sci., Kyoto Pref. Univ., ²Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci., ³Dept. Food Nutr., Kyoto Women's Univ.)

10:10 - 10:20

O6-3 Enhancing effect of oxidized oil on Contact Hypersensitivity of mouse

○ Hirofumi Ogino, Miho Kitayama, Chisa Betto, Tomohiro Arakawa, Tomofumi Okuno, Hitoshi Ueno (Fac. Pharm. Sci., Setsunan Univ.)

10:20 - 10:30

O6-4 Polycyclic aromatic hydrocarbons and nitropolycyclic aromatic hydrocarbons in motorcycle exhaust particulates and atmosphere in Hanoi, Vietnam

Pham Chau Thuy¹, Takayuki Kameda^{1,2}, Akira Toriba^{1,2}, Kazuichi Hayakawa^{1,2}
(¹ Grad. Sch. Nat. Sci. Technol., Kanazawa Univ. ² Inst. Med., Pharm. Health Sci., Kanazawa Univ.)

10:30 - 10:40

O6-5 Antiplatelet effect of AMP-activated protein kinase activator and its potentiation by dipyridamole, a phosphodiesterase inhibitor

Yingqiu Liu¹, Kyung-Hwa Chang¹, Yoon-Gyoon Kim², Moo-Yeol Lee¹ (¹Col. Pharm., Dongguk Univ., ²Dept. Pharmacol., Col. Med., Dankook Univ.)

Oral Sessions

Room B

October 26 (Fri) 15 : 20 ~ 16 : 10

Session 7 Cellular responses

Chairpersons : Yusuke Hiraku (Mie Univ. Grad. Sch. Med.)
Tsutomu Takahashi (Grad. Sch. Pharm. Sci., Tohoku Univ.)

15:20 - 15:30

O7-1 Cystathionine β -synthase-derived H₂S/HS⁻ modulates electrophilic signaling in human epithelial A431 cells

○ Yasuhiro Shinkai¹, Takashi Miura¹, Bruce A. Freeman², Takaaki Akaike³, Yoshito Kumagai¹ (¹Grad. Sch. Comp. Human Sci., Univ. Tsukuba, ²Sch. Med., Univ. Pittsburgh, ³Sch. Med., Kumamoto Univ.)

15:30 - 15:40

O7-2 An unexpected fate of glutathione adduct of 1,2-NQ in primary mouse hepatocytes

○ Hidenao Kakehashi, Yasuhiro Shinkai, Yoshito Kumagai (Grad. Sch. Comp. Human Sci., Univ. Tsukuba)

15:40 - 15:50

O7-3 Two distinct Nrf2 activation mechanisms and cholangiocyte formation in liver

○ Keiko Taguchi, Hozumi Motohashi, Masayuki Yamamoto (Tohoku Univ. Grad. Sch. Med.)

15:50 - 16:00

O7-4 Diphenylarsinic acid destabilizes the tetrameric form of glutaminase C and promotes its proteolysis by Lon protease

○ Kayoko Kita, Toshihide Suzuki, Takafumi Ochi (Fac. Pharma-Sci., Teikyo Univ.)

16:00 - 16:10

O7-5 Selective toxicity of a licorice component against tumorigenic *r/m* HM-SFME-1 cells is attributed to downregulation of glutathione

○ Hideaki Yamaguchi¹, Yumi Kidachi², Katsuyoshi Kamiie², Toshiro Noshita³, Hironori Umetsu⁴, Kazuo Ryoyama² (¹ Fac. Pharm., Meijo Univ., ² Fac. Pharm., Aomori Univ., ³ Fac. Life Environ. Sci., Pref. Univ. Hiroshima, ⁴ Dept. Life Sci., Junior Col., Gifu Shotoku Gakuen Univ.)

Oral Sessions

Room B

October 26 (Fri) 16 : 10 ~ 17 : 00

Session 8 Endocrine-disrupting chemicals ·
Analytical chemistry · Biochemistry

Chairpersons : Yasuyuki Fujiwara (Sch. Pharm., Aichi Gakuin Univ.)
Masashi Sekimoto (Sch. Pharm. Sci., Univ. Shizuoka)

16:10 - 16:20

O8-1 Characteristic endocrine-disrupting activity of parabens and its structure-activity relationship

Yoko Watanabe^{1,2}, Hiroyuki Kojima³, Shinji Takeuchi³, Naoto Uramaru¹, Shigeru Ohta², Shigeyuki Kitamura¹ (¹Nihon Pharm. Univ., ²Grad. Sch. Biomed. Health Sci., Hiroshima Univ., ³Hokkaido Inst. Public. Health)

16:20 - 16:30

O8-2 Overexpression of 17 β -hydroxysteroid dehydrogenase type 3 induces pseudohermaphroditism in female mice

○ Yasushi Nishioka¹, Hiroshi Yoshikawa¹, Kenju Ishi¹, Ichiro Yoshida^{1,2}, Tsuyoshi Nakanishi¹, Hisamitsu Nagase¹ (¹Gifu Pharm. Univ., ²Gifu Pref. Res. Inst. Health Environ. Sci.)

16:30 - 16:40

O8-3 Development of fluorescent probes for the detection of glutathione transferase in living cells

○ Mika Araki^{1,2}, Aya Shibata¹, Mika Ito^{1,3}, Hiroshi Abe^{1,4}, Yasuhiko Yoshida², Zhang Jie⁵, Morgenstern Ralf⁶, Yoshihiro Ito¹ (¹RIKEN, ²Fac. Eng., Toyo Univ., ³Fac. Pharm. Sci., Hokkaido Univ., ⁴PRESTO, ⁵Karolinska Inst.)

16:40 - 16:50

O8-4 Causation and treatment of hormone dependent age-related disease

○ Hajime Kato, Sachiko Komatsu, Ken-ichi Ohno, Kouwa Yamashita (Tohoku Pharm. Univ.)

16:50 - 17:00

O8-5 Regulation of transferrin recycling by Rab11 and exocyst tethering complex

Senye Takahashi, Keiji Kubo, Yohei Katoh, ○ Kazuhisa Nakayama (Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyoto Univ.)

Discussion :

October 25 (Thu) Odd 13 : 00 ~ 13 : 35

Even 13 : 35 ~ 14 : 10

Foods and pesticides

P-001 Stereoselective uptake of benzoic acid derivatives from the apical membranes of Caco-2 cells

○ Osamu Kimura¹, Kensuke Tsukagoshi², Moriaki Hayasaka³, Tetsuya Endo¹ (¹Health Sci. Univ. Hokkaido, ²Hijirigaoka Hosp., ³Sapporo Higashi-Tokusyukai Hosp.)

P-002 Simultaneous determination of pesticides in agricultural products by LC-MS/MS

○ Minae Watanabe, Eiji Ueno, Tomomi Inoue, Haruka Ohno, Yoshitomo Ikai, Toshio Morishita (Aichi Pref. Inst. Public Health)

P-003 Nitrate content in health foods

○ Natsuki Monzen¹, Motoko Matsui¹, Kimiko Otani¹, Sadahiro Kawazoe^{1,2} (¹Grad. Sch. Life Environ. Sci., Kyoto Pref. Univ., ²Dept. Food Nutr., Kyoto Women's Univ.)

P-004 Biological activities of rosmarinic acid-containing tea

○ Yuya Deguchi¹, Kodai Kawano¹, Akihiro Tanabe¹, Kaori Inoue¹, Tomohiro Kishi¹, Megumi Hamano Nagaoka², Hiroaki Nagaoka¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Nagasaki Int. Univ., ²Natl. Inst. Health Sci.)

P-005 Antimutagenicities and radical scavenging activities of Microalgae

○ Akihiro Ohara¹, Yuji Yamaguchi², Hiroyuki Takenaka², Ken-ichiro Minato¹ (¹Fac. Agric., Meijo Univ., ²MicroAlgae Corp. Co. Ltd.)

P-006 Influence of flavonoids on differentiation of murine embryonic stem cells

○ Yuki Taniguchi¹, Yoshinori Okamoto¹, Tomoko Iyoda¹, Mariko Ushida¹, Shintaro Okamoto¹, Sawami Kondo¹, Tatsuyuki Takada², Nakao Kojima¹ (¹Fac. Pharm. Meijo Univ., ²Fac. Pharm. Sci., Ritsumeikan Univ.)

***P-007* Fluctuation of estrogen receptor transactivation depending on structure diversity of prenylated genisteins**

○ Takuya Arita, Yoshinori Okamoto, Ayaka Iwata, Aya Yasui, Ayaka Yamanaka, Masayuki Yoshida, Koji Ueda, Chihiro Ito, Nakao Kojima (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

***P-008* Development of novel absorbent recognizing the dipole moment and its application to the analyses of residual pesticides and veterinary drugs**

○ Shiho Suzuki¹, Toshio Miwa¹, Atsushi Yamamoto¹, Isao Saito², Yoshinori Inoue³, Mitsuru Saito³ (¹Col. Biosci. Biotechnol., Chubu Univ., ²Aichi Sci. Technol. Foundation, ³Nippon Filcon Co. Ltd.)

***P-009* Binding specificity of recombinant human dectin-1**

○ Hiroki Yura, Noburo Kiochi, Yosuke Yamauchi, Shota Koike, Hiroki Okumura, Minoru Ujita (Fac. Agric., Meijo Univ.)

***P-010* Development of a novel adsorbent for the pretreatment of hydrophilic hazardous solutes in food analysis and its applications**

○ Chihiro Tanada¹, Yasuyuki Kobayashi¹, Waka Kamichatani^{1,2}, Atushi Yamamoto¹, Yoshinori Inoue², Mitsuru Saito² (¹Col. Biosci. Biotechnol., Chubu Univ., ²Nippon Filcon Co. Ltd.)

***P-011* Binding specificity of the recombinant chitin-binding domain of human chitotriosidase**

○ Masashi Niwa, Masahiro Yamada, Mayumi Yamanaka, Hiroki Okumura, Minoru Ujita (Fac. Agric., Meijo Univ.)

***P-012* Glucuronidation of 4'-O-methylpyridoxine in human**

○ Mika Ishikawa, Daisuke Kobayashi, Teruki Yoshimura, Keiji Wada (Fac. Pharm. Sci., Health Sci. Univ. Hokkaido)

***P-013* Antioxidant activity of cyclic dipeptides in distillation residue of Awamori spirits and its structure-activity relationships**

Tadashi Furukawa¹, Takashi Akutagawa¹, Hitomi Funatani¹, Toshikazu Uchida¹,
○ Yoshiaki Takaya¹, Yoshihiro Hotta², Masatake Niwa¹ (¹Fac. Pharm., Meijo Univ., ²Fac. Pharm., Kinjo Gakuin Univ.)

P-014 Decomposition of food additives by photocatalyst

○ Norihisa Kawamura¹, Satiyo Kodama¹, Maki Takashima¹, Mayuko Kishimoto¹, Taku Chiba¹, Hiroko Hase², Toru Nonami² (¹Fac. Pharm., Kinjo Gakuin Univ. ²Sch. Info. Sci. Technol., Chukyo Univ.)

P-015 Protective effects of a cyclic dipeptide from distillation residue of Awamori spirits against postischemic myocardial dysfunction

○ Honami Morikawa¹, Tadashi Furukawa¹, Takashi Akutagawa¹, Yoshihiro Hotta², Yoshiaki Takaya¹, Masatake Niwa¹ (¹Fac. Pharm., Meijo Univ., ²Fac. Pharm., Kinjo Gakuin Univ.)

P-016 Antioxidant compounds in distillation residue of Awamori spirits

○ Aiko Yamada, Ayumi Uchida, Yoshiaki Takaya, Masatake Niwa (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

P-017 Improving effects of betaine on water-immersion restraint stress-induced memory impairment: Involvement of GABAergic neuronal system

○ Kazuo Kunisawa, Junko Tsuboi, Asako Ogawa, Yuji Kasugai, Toshitaka Nabeshima, Masayuki Hiramatsu (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

P-018 Characterization of vitamin B₁₂ compounds in Shitake mushroom (*Lentinula edodes*)

○ Noriharu Ohishi¹, Emi Miyamoto², Shigeo Takenaka³, Emi Sakuno⁴, Yukinori Yabuta¹, Fumio Watanabe¹ (¹Sch. Agric., Biol. Environ. Sci., Tottori Univ., ²Grad. Sch. Life Environ. Sci., Osaka Pref. Univ., ³Dept. Health Nutr., Nagasaki Int. Univ., ⁴Tottori Mycol. Inst., Japan Kinoko Res. Cent. Foundation)

P-019 Production of quercetin glycosides using plant glycosyltransferases and their intestinal absorption

○ Kazuki Tanaka, Misaki Kanemaru, Yuki Mizutani, Kazuyoshi Terasaka, Toshiaki Makino, Hajime Mizukami (Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ.)

P-020 Effects of betaine on water-immersion restraint stress (WIRS)-induced memory impairment and homocysteine-induced memory impairment

○ Natsuki Nakashima, Saori Kinoshita, Toshitaka Nabeshima, Masayuki Hiramatsu (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

Metals

P-021 Identification of protein targets for methylmercury: S-Mercuration of UCH-L1, resulting in reduction of its catalytic activity, thereby modulating cellular monoubiquitin levels

○ Yuko Katayama¹, Takashi Toyama², Yoshito Kumagai^{1,3} (¹Grad. Sch. Life Environ. Sci., Univ. Tsukuba, ²Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ³Fac. Med., Univ. Tsukuba)

P-022 Role of ubiquitin ligase FBXO6 as a reduction factor of the cadmium-induced endoplasmic reticulum stress

○ Ke Du, Gi-wook Hwang, Akira Naganuma (Grad. Sch. Pharm. Sci., Tohoku Univ.)

P-023 Transcriptional regulation of metallothionein-I gene by chromatin remodeling factor Snf2H

○ Yuuichi Itezono, Takuomi Hosaka, Kazuya Okada, Tomoki Kimura, Hiroyuki Fujimori, Masakazu Isobe (Fac. Pharm. Sci., Setsunan Univ.)

P-024 Enhancement of seizure susceptibility by the decrease in Zn²⁺ signal in the brain

○ Masashi Iida, Masaki Ando, Masatoshi Nakamura, Naoto Oku, Atsushi Takeda (Grad. Sch. Pharm. Sci., Univ. Shizuoka)

P-025 Transcriptional activation enhanced by the change in chromatin structure of metallothionein-I promoter

○ Toru Tanaka, Yuzo Furuta, Takuomi Hosaka, Tomoki Kimura, Hiroyuki Fujimori, Masakazu Isobe (Fac. Pharm. Sci., Setsunan Univ.)

P-026 Protective effects of manganese on cadmium cytotoxicity in vascular endothelial cells

○ Reika Ando¹, Chika Yamamoto², Yasunobu Aoki³, Toshiyuki Kaji¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ²Fac. Pharm. Sci., Hokuriku Univ., ³Cent. Environ. Risk Res., NIES)

P-027 The cytotoxicity of organobismuth compounds disappears by replacing bismuth with antimony

○ Kumiko Kohri¹, Shizuka Nakasako¹, Chika Yamamoto², Shuji Yasuike², Naoki Kakusawa², Jyoji Kurita², Toshiyuki Kaji¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ²Fac. Pharm. Sci., Hokuriku Univ.)

P-028 Disorder of the polyol pathway as a mechanism of methylmercury-induced edematous changes in human brain microvascular pericytes

○ Akishige Hirata¹, Takashi Hirooka¹, Chika Yamamoto², Toshiyuki Kaji¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ²Fac. Pharm. Sci., Hokuriku Univ.)

P-029 Involvement of p53 in cadmium-induced apoptosis in renal tubules

○ Jin-Yong Lee¹, Maki Tokumoto^{1,2}, Koshiro Iwata¹, Yasuyuki Fujiwara¹, Masahiko Satoh¹ (¹Sch. Pharm., Aichi Gakuin Univ., ²Showa Pharm. Univ.)

P-030 Transient impairment of object recognition memory by the reduction of synaptic Zn²⁺ signal in the dentate gyrus

○ Fujii Hiroaki, Shunsuke Takada, Masatoshi Nakamura, Naoto Oku, Atsushi Takeda (Grad. Sch. Pharm. Sci., Univ. Shizuoka, Global COE)

P-031 Dietary Zn deficiency exacerbates nonalcoholic fatty liver disease induced by high fat diet

○ Kyong-Son Min, Takashi Moriwaki, Hidenori Ueda, Fumitoshi Sakazaki (Fac. Pharm., Osaka Ohtani Univ.)

P-032 Thiol-mediated cytotoxicity of selenodiglutathione against breast cancer cells

○ Shotaro Kon, Chiho Suzuki, Miyako Yamamoto, Koji Ueda, Yoshinori Okamoto, Nakao Kojima (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

P-033 Different susceptibility to chromium-induced toxicity in a day

○ Nobuhiko Miura¹, Masako Togawa², Tatsuya Hasegawa² (¹Natl. Inst. Occu. Safety Health, ²Yamanashi Inst. Environ. Sci.)

P-181 Evidence for S-transmercuration of cellular proteins by methylmercury-SG adduct

○ Eiko Yoshida¹, Yoshito Kumagai^{1,2} (¹Grad. Sch. Comp. Human Sci., Univ. Tsukuba, ²Fac. Med., Univ. Tsukuba)

Oxidative stresses

P-034 Role of reactive oxygen species in apoptosis induction by idarubicin

○ Hideki Mizutani¹, Sari Saito¹, Chiaki Shiga¹, Kenji Ikemura¹, Yusuke Hiraku², Shosuke Kawanishi³ (¹Col. Pharmacy, Kinjo Gakuin Univ., ²Dept. Mol. Med., Mie Univ. Grad. Sch. Med., ³Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)

P-035 The effect of dihydropyrazine on glutathione blance

○ Takumi Ishida, Tadatoshi Yamaguchi, Shinji Takechi (Fac. Pharm. Sci., Sojo Univ.)

P-036 The study of the toxic effects of dihydropyrazines

○ Shinji Takechi, Takumi Ishida, Tadatoshi Yamaguchi (Fac. Pharm. Sci., Sojo Univ.)

P-037 Novel nitroxide-bisbenzimidazole fluorescence probe for evaluation of environmental oxidative stress on cells

○ Hidehiko Nakagawa, Mamiko Ikeda, Naoya Ieda, Naoki Miyata (Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ.)

P-038 Intragenomic distribution of oxidative DNA damages at the initial process of mouse renal carcinogenesis

○ Shinya Akatsuka, Guanghua Li, Shinya Toyokuni (Dept. Pathol. Biol. Responses, Nagoya Univ. Grad. Sch. Med.)

P-039 Analysis of creatinine metabolites in urine of ulcerative colitis patients - Possibility as a useful oxidative stress marker of chronic colitis-

○ Koichi Kato¹, Atsushi Urano^{1,2}, Mariko Tachikawa¹, Toru Masaka², Tetsuhiro Yamada³, Yasuo Suzuki³, Kenzo Yamanka¹ (¹Sch. Pharm., Nihon Univ., ²Dept. Pharm., Toho Univ. Sakura Hosp., ³Dept. Gastroenterol. Toho Univ. Sakura Hospital)

P-040 Cytotoxicity of N^ε-(3-formyl-3, 4-dehydropiperidino) lysine in immortalized hypothalamic neurons GT1-7

○ Susumu Ohkawara, Ayaka Kudo, Ami Kuronita, Asami Sakai, Hironari Koyama, Kiyoshi Ito (Fac. Pharm. Sci., Kyushu Univ. Health Welfare)

P-041 Effects of epalrestat on schwann cells

○ Kaori Yama, Keisuke Sato, Yoshiko Tampo (Hokkaido Pharm. Univ. Sch. Pharm.)

P-042 The examination on generation mechanism of intracellular reactive oxygen species by nanomaterial

○ Aki Honma¹, Akira Onodera¹, Nami Tanabe¹, Maiko Ohota¹, Yukina Ishii¹, Takuya Furuta¹, Shigenobu Yonemura², Yasuo Tsutsumi³, Yuichi Kawai¹ (¹ Fac. Pharm. Sci., Kobegakuin Univ. ² Riken CDB. ³ Grad. Sch. Pharm. Sci., Osaka Univ.)

P-043 Visualization of acute kidney injury using in vivo redox imaging

○ Fuminori Hyodo¹, Yohei Honda², Shinji Ito¹, Kazuhiro Ichikawa¹, Kenichi Yamada², Hideo Utsumi¹ (¹Innov. Cent. Med. Redox Navigation, Kyushu Univ., ²Fac. Pharm. Sci., Kyushu Univ.)

P-044 Effects of proton pump inhibitors on DNA damage in Barrett's esophagus by increasing Mn-SOD expression

○ Mariko Murata¹, Yusuke Hiraku¹, Shinji Oikawa¹, Raynoo Thanan², Somchai Pinlaor², Ning Ma³, Shosuke Kawanishi⁴ (¹Mie Univ. Grad. Sch. Medicine, ²Fac. Med., Khon Kaen Univ., ³Fac. Health Sci., Suzuka Univ. Med. Sci., ⁴Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)

Immunotoxicity · Infectious diseases

P-045 DNA damage and stemness markers in urinary bladder cancer with *Schistosoma haematobium* infection

○ Shiho Ohnishi¹, Ning Ma², Raynoo Thanan^{1,3}, Hatasu Kobayashi^{3,4}, Yusuke Hiraku³, Shinji Oikawa³, Mariko Murata³, Shosuke Kawanishi¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci., ²Fac. Health Sci., Suzuka Univ. Med. Sci., ³Mie Univ. Grad. Sch. Med., ⁴Grad. Sch. Med. Kyoto Univ.)

P-046 Studies on growth and ammonia production of *Mycobacterium avium*

○ Natsuki Hanamura¹, Takemasa Takii¹, Erika Miyata¹, Kei Tsuihiji¹, Saotomo Itoh¹, Ryuji Yamamoto¹, Yasuhiro Horita², Kenji Ogawa³, Tetsuya Yagi³, Kei Nishimori⁴, Naoya Ohhara⁵, Nagatoshi Fujiwara⁵, Shinji Maeda⁶, Toshio Yamazaki⁷, Yoshitaka Gotoh⁸, Kikuo Onozaki¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ., ²Res. Inst. Tuberculosis, ³Higashi Nagoya Natl. Hosp., ⁴Nagoya Univ. Hosp., ⁵Grad. Sch. Med. Dentist. Pharm. Sci., Okayama Univ., ⁶Grad. Sch. Med., Osaka City Univ., ⁷Natl. Inst. Infect., ⁸Grad. Sch. Med. Veterinary Med., Miyazaki Univ.)

P-047 Evaluation of sensitization potential of methacrylates and acrylates emitted from consumer products

○ Yoshiaki Ikarashi¹, Tadashi Uchino¹, Tetsuji Nishimura² (¹Natl. Inst. Health Sci., ²Teikyo Heisei Uni.)

P-048 Staphylococcal superantigen like 3 binds to and inhibits the production of inflammatory cytokine from macrophages in response to TLR2 ligands

Ryosuke Yokoyama¹, ○ Saotomo Itoh¹, Go Kamoshida², Takemasa Takii¹, Satoshi Fujii¹, Tsutomu Tsuji², Kikuo Onozaki¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ., ²Hoshi Univ. Sch. Pharm. Pharm. Sci.)

P-049 Analysis for the interaction between Staphylococcal superantigen like 5 and Matrix metalloproteinase-9

○ Akari Hanai¹, Saotomo Itoh¹, Takemasa Takii¹, Tsutomu Tsuji², Kikuo Onozaki¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ., ²Hoshi Univ. Sch. Pharm. Pharm. Sci.)

Cellular responses

P-050 FXR regulates the cell proliferation of human kidney-derived cell line HK-2

○ Tomofumi Fujino, Nami Sakamoto, Yumiko Furusato, Ryosuke Sakamaki, Haruka Ito, Makio Hayakawa (Tokyo Univ. Pharm. Life Sci.)

P-051 Age-related increase in IL-17-induced stimulation of bone resorption

○ Kirie Wakabayashi, Hiroyuki Kaneki, Ayumi Yoshimura, Koichi Hatori, Hayao Ide (Sch. Pharm. Sci., Toho Univ.)

P-052 Effect of interleukin-1 on the formation of osteoclasts

○ Koichi Hatori, Hiroyuki Kaneki, Kirie Wakabayashi, Ayumi Yoshimura, Hayao Ide (Sch. Pharm. Sci., Toho Univ.)

P-053 Age-related decrease in interleukin 18-induced inhibition of bone resorption

○ Ayumi Yoshimura, Hiroyuki Kaneki, Koichi Hatori, Kirie Wakabayashi, Hayao Ide (Sch. Pharm. Sci., Toho Univ.)

- P-054 Structure-activity relation of inhibitory effect of flavonol on osteoclast differentiation**
○ Michiaki Kiri, Hayao Ide (Fac. Pharm. Sci., Toho Univ.)
- P-055 Analysis of K-ras proteins in drug-resistant cancer cells**
○ Tsubasa Ozawa, Masahiko Imai, Noriko Takahashi (Inst. Medic. Chem., Hoshi Univ.)
- P-056 Anti-oxidant and anti-inflammatory actions associated with falcariindiol-mediated modification of cysteine residues**
○ Tomokazu Ohnuma, Sayaka Yamazaki, Takahito Nishiyama, Kenichiro Ogura, Akira Hiratsuka (Sch. Pharm., Tokyo Univ. Pharm. Life Sci.)
- P-057 Effects of nobiletin, a polymethoxyflavone, on the expression of the endoplasmic reticulum and oxidative stress-related genes**
○ Misaki Miyata¹, Ayaka Ikeda¹, Chiaki Yoshida¹, Junko Kimura¹, Junki Mori¹, Hironori Fujiwara², Akihito Yokosuka³, Yoshihiro Mimaki³, Yasushi Ohizumi^{1,2,4}, Masashi Sekimoto¹, Kiyomitsu Nemoto¹, Masakuni Degawa¹ (¹Sch. Pharm. Sci., Univ. Shizuoka, ²Grad. Sch. Eng., Tohoku Univ., ³Sch. Pharm., Tokyo Univ. Pharm. Life Sci., ⁴Yokohama Col. Pharm.)
- P-058 Transcriptional regulation of BMP antagonist by inflammatory cytokines**
○ Shigeki Mizuoichi, Yusuke Izumi, Ryoko Morita, Ayaka Fujiwara, Hiroyuki Kaneki, Hayao Ide (Fac. Pharm. Sci., Toho Univ.)
- P-059 Role of IRE1 activation by saturated fatty acids**
○ Hiroyuki Ariyama, Yuto Kitai, Rikuto Tanaka, Nozomu Kono, Hiroyuki Arai (Grad. Sch. Pharm. Sci., Univ. Tokyo)
- P-060 Role of type II PAF acetylhydrolase in FcεRI-mediated mast cell signaling**
○ Yuta Shimanaka¹, Nozomu Kono¹, Yoshitaka Taketomi², Kojiro Mukai¹, Makoto Murakami², Hiroyuki Arai¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Univ. Tokyo, ²Tokyo Metropolitan Inst. Med. Sci.)

- P-061 A new approach to study the functions of polyunsaturated fatty acids (PUFAs) in biological membranes**
○ Takuya Kubo¹, Shinji Matsuda¹, Takao Inoue¹, Eriko Kage-Nakadai², Shohei Mitani², Hiroyuki Arai¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Univ. Tokyo, ²Sch. Med. Tokyo Women's Med. Univ.)
- P-062 Detection rate and molecular typing of methicillin-resistant *Staphylococci* from healthy volunteers**
○ Yumiko Komori, Yuko Hoshino, Takahiro Mita, Toshiaki Nikai (Fac. Pharm., Meijo Univ.)
- P-063 Enhancement of radiosensitization by antagonists of purine receptors**
○ Shunta Ide, Mitsutoshi Tsukimoto, Shuji Kojima (Grad. Sch. Pharm., Tokyo Univ. Sci.)
- P-064 Anti-inflammatory action of *Pleurotus cornucopiae* var. *citrinopileatus* against macrophages**
○ Ken-ichiro Minato, Mai Hayasaka, Yu Morita, Akihiro Ohara (Fac. Agric., Meijo Univ.)
- P-065 Immunomodulating actions of edible mushrooms, *Pleurotus cornucopiae* var. *citrinopileatus* and *Pholiota nameko***
○ Ken-ichiro Minato, Megumi Andoh, Koudai Watanabe, Akihiro Ohara (Fac. Agric., Meijo Univ.)
- P-066 Cannabidiolic acid, a major cannabinoid in fiber-type cannabis, as an inhibitor of breast cancer cell migration**
○ Shuso Takeda¹, Kazutaka Yoshida¹, Hajime Nishimura¹, Kazuhito Watanabe², Hironori Aramaki¹ (¹Daiichi Univ. Pharm, ²Hokuriku Univ. Pharm.)
- P-067 Effects of carbon nanotubes on stress-responsive genes expressed in human bronchial epithelial cells**
○ Miki Katoh¹, Kotaro Hitoshi¹, Tomoko Suzuki², Yoshinori Ando², Masayuki Nadai¹ (¹Fac. Pharm., Meijyo Univ., ²Fac. Sci. Technol., Meijo Univ.)

P-068 Regulation of UDP glucuronosyltransferase 1A1 expression in cellular stress response

○ Mayumi Kawai, Keiko Nakahira, Yoko Ishii, Sono Ishitoya, Yuka Itoh, Yasumichi Inoue, Takaharu Mizutani, Hidetoshi Hayashi (Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ.)

P-069 Intracellular Ca²⁺ plays an important role in *Salmonella* virulence

○ Kei-ichi Uchiya, Toshiaki Nikai (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

P-070 Long-term ultraviolet A irradiation of the eye induces photoaging of the skin in mice

○ Keiichi Hiramoto, Eisuke Sato (Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)

P-071 The effects of vitamin D3 and its derivatives on innate immune system in intestinal cells

Mayumi Hidaka¹, Ichiro Wakabayashi², Yuji Takeda², ○ Kenji Fukuzawa¹ (¹Fac. Pharm., Yasuda Women's Univ., ²Hyogo Col. Med.)

Biochemistry

P-072 Characterization of prostaglandin terminal synthases mPGES-1 and PGIS knockout mice

○ Moe Akatsu, Yuka Sasaki, Shuhei Kamiyama, Natsuki Tamura, Moe Murata, Shuntaro Hara (Sch. Pharm., Showa Univ.)

P-073 Anti-inflammatory effect of lactoferrin on chronic colitis

○ Fumiya Kinoshita, Ken Ando, Shoko Irino, Takahiro Kobayashi, Akira Yanaga, Naoyuki Fujita, Ayaka Yamashita, Makio Hayakawa (Sch. Pharm., Tokyo Univ. Pharm. Life Sci.)

P-074 Involvement of mPGES-1 and PGIS in growth of a cancer cell line in vivo

○ Masaya Takamura, Yuka Sasaki, Shuntaro Hara (Sch. Pharm., Showa Univ.)

P-075 Effect of high fat diet-induced obesity on gene expression of ketone body-utilizing enzymes in mouse bone tissue

○ Tomomi Imai, Masahiro Yamasaki, Shinya Hasegawa, Tetsuya Fukui (Sch. Pharm., Hoshi Univ.)

P-076 Differential effects of two types of obesity on ketone body utilization in muscle and myocytes

○ Masahiro Yamasaki, Saki Yoshida, Shotaro Ozaki, Shinya Hasegawa, Tetsuya Fukui (Sch. Pharm., Hoshi Univ.)

P-077 Effect of high fat diet-induced obesity gene expression of ketone body-utilizing enzymes in mouse brown adipose tissue

○ Shotaro Ozaki, Masahiro Yamasaki, Shinya Hasegawa, Tetsuya Fukui (Sch. Pharm., Hoshi Univ.)

P-078 Contribution of Interleukin-1 to the constitutive gene expression of cholesterol 7 α -hydroxylase and its transcription factors in the mouse liver

○ Misaki Kojima¹, Takashi Ashino², Takemi Yoshida², Yoichiro Iwakura³, Masashi Sekimoto⁴, Masakuni Degawa⁴ (¹Natl. Inst. Agrobiol. Sci., ²Sch. Pharm. Sci., Showa Univ., ³Res. Inst. Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci., ⁴Sch. Pharm. Sci., Univ. Shizuoka)

P-079 An adipocyte enlargement factor *Mest* suppresses adipogenic differentiation

○ Yoshito Kadota, Takashige Kawakami, Shinya Suzuki (Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ.)

P-080 Role of intracellular phospholipase A₂ in cytokine-dependent chemokine production

○ Yuki Ikegami, Natsumi Kinoshita, Sana Washio, Kazuyoshi Harada, Emiko Yoda, Hiroshi Kuwata, Shuntaro Hara (Sch. Pharm., Showa Univ.)

P-081 Identification of the cis-acting element responsible for nicardipine-mediated activation of human CYP1A1 gene

○ Haruka Suzuki, Masashi Sekimoto, Seiko Fujii, Kiyomitsu Nemoto, Masakuni Degawa (Sch. Pharm. Sci., Univ. Shizuoka)

- P-082 Effects of nobiletin, a polymethoxyflavone component in citrus peel, on the expression of human CYP1A subfamily enzyme genes**
○ Yoshito Katsumata¹, Kasumi Sakaki¹, Masashi Sekimoto¹, Akihito Yokosuka², Yoshihiro Mimaki², Yasushi Ohizumi^{1,3,4}, Kiyomitsu Nemoto¹, Masakuni Degawa¹ (¹Sch. Pharm. Sci., Univ. Shizuoka, ²Sch. Pharm., Tokyo Univ. Pharm. Life Sci., ³Grad. Sch. Eng., Tohoku Univ., ⁴Yokohama Col. Pharm.)
- P-083 Expression and physiological function of vitamin D metabolizing enzyme, CYP2R1 in human testis**
○ Maya Kamao, Emiri Washida, Toshio Okano (Kobe Pharm. Univ.)
- P-084 Dietary fatty acids modify the effects of clofibrac acid on LPCAT expression in the liver of rats**
Yoko Sato, Yosuke Harada, Ayaka Sugawara, Tohru Yamazaki, ○ Naomi Kudo, Yoichi Kawashima (Fac. Pharm. Sci., Josai Univ.)
- P-085 Regulation of TGF- β signaling by peptidylarginine deiminase 4**
○ Chisaki Kubo, Yasumichi Inoue, Yuka Itoh, Hidetoshi Hayashi (Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ.)
- P-086 Functional analysis of huntingtin-associated protein 1 (HAP1), a huntington disease associated protein**
○ Yohei Toda¹, Takuo Fujii¹, Yuka Itoh¹, Satoshi Sakai², Yasumichi Inoue¹, Hidetoshi Hayashi¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ., ²Niigata Univ. Pharm. Appl. Life Sci.)
- P-087 Regulation of TGF- β signaling by TRB protein family members**
○ Yuiko Yoshii¹, Sayuri Ushiyama¹, Miki Sawanaka¹, Yuko Ide¹, Nobumichi Ohoka², Satoshi Sakai³, Yuka Itoh¹, Yasumichi Inoue¹, Kikuo Onozaki¹, Hidetoshi Hayashi¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ., ²Natl. Inst. Health Sci., ³Niigata Univ. Pharm. Appl. Life Sci.)
- P-088 Chromosomal DNA fragmentation and change of intracellular proteins associated with apoptosis in UV-irradiated cells**
○ Yoshihiro Higuchi, Ayako Furukawa (Dept. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)

P-089 Effect of B₁₂-deficiency on spermidine metabolism in *Caenorhabditis elegans*

○ Tomohiro Bito, Yohei Matsunaga, Yukinori Yabuta, Tsuyosi Kawano,
Fumio Watanabe (Fac. Agric., Tottori Univ.)

P-090 Determination of functional binding modules for Hfq in bacterial small RNA

○ Teppei Morita¹, Hirokazu Ishikawa², Hironori Otake², Kimika Maki², Hiroji Aiba¹
(¹Fac. Phram. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci., ²Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ.)

Discussion :

October 26 (Fri) Odd 12 : 50 ~ 13 : 25

Even 13 : 25 ~ 14 : 00

Environmental pollutants

***P-091* Adsorption ability of anions by carbonaceous material produced from coffee grounds in a complex solution system**

○ Fumihiko Ogata, Hisato Tominaga, Moe Kangawa, Kenji Inoue, Naohito Kawasaki (Fac. Pharm., Kinki Univ.)

***P-092* In vitro metabolism of 2,4,6-tribromoanisole found in marine biota by animal liver microsomes and anti-oxidative activity of its related compounds**

○ Chiho Ohta¹, Koichi Haraguchi², Tetsuya Endo³, Yoshihisa Kato⁴, Futoshi Matsubara², Nobuyuki Koga¹ (¹Nakamura Gakuen Univ., ²Daiichi Col. Pharm. Sci., ³Tokushima Bunri Univ., ⁴Health Sci. Univ. Hokkaido)

***P-093* Characterization of particles released from ultrasonic humidifier**

○ Keisuke Sekita¹, Masakazu Umezawa², Ken-ichiro Suzuki², Ken Takeda^{1,2} (¹Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ²Cent. Environ. Health Sci. Next Gen., RIST. Tokyo Univ. Sci.)

***P-094* Effects of maternal exposure to ultrafine carbon black on brain perivascular macrophages**

○ Atsuto Onoda^{1,2}, Masakazu Umezawa^{2,3}, Rikio Niki³, Ken Takeda^{1,3}, Tomomi Ihara², Masao Sugamata² (¹Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ²Tochigi Inst. Clin. Pathol., ³Cent. Environ. Health Sci. Next Gen., RIST, Tokyo Univ. Sci.)

***P-095* Tissue distribution and excretion pathways of 2'-OH-PCB157, a major metabolite of PCB138, in guinea pigs**

○ Ryota Kodama¹, Chiho Ohta¹, Koichi Haraguchi², Yoshihisa Kato³, Tetsuya Endo⁴, Nobuyuki Koga¹ (¹Nakamura Gakuen Univ., ²Daiichi Col. Pharm. Sci., ³Tokushima Bunri Univ., ⁴Health Sci. Univ. Hokkaido)

P-096 Exposure levels of arsenic in the hair and urine among Cambodian people living in arsenic-polluted area

○ Hideki Miyataka¹, Harue Morita¹, Seiichiro Himeno¹, Suthipong Sthiannopkao²
(¹Fac. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ., ²Dong-A Univ.)

P-097 Dietary exposure and serum concentration of phenolic brominated contaminants

○ Koichi Haraguchi¹, Eri Nishimura¹, Yoshihisa Kato², Yukiko Fujii³, Kouji H Harada³, Akio Koizumi³ (¹Daiichi Col. Pharm. Sci., ²Kagawa Sch. Pharm. Sci., Tokushima Bunri Univ., ³Kyoto Univ. Grad. Sch. Med.)

P-098 Distinction between urban and non-urban areas about bioactivity and chemical components in airborne particles and surface soil

○ Tomohiro Hasei¹, Chiyuki Yoshioka¹, Hideaki Takahashi¹, Yumi Miyake¹, Kokoro Kintaka¹, Fumikazu Ikemori², Akira Toriba³, Tetsuro Seiyama⁴, Tetsushi Watanabe¹ (¹Kyoto Pharm. Univ., ²Nagoya City Inst. Environ. Sci., ³Kanazawa Univ., ⁴Tottori Pref. Inst. Public Health Environ.)

P-099 Concentration-dependent endoplasmic reticulum stress mechanism by tributyltin

○ Midori Isomura¹, Yaichiro Kotake^{1,2}, Kyouichi Masuda¹, Shigeyoshi Samizo², Shigeru Ohta^{1,2} (¹Fac. Pharm. Sci., Hiroshima Univ., ²Grad. Sch. Biomed. Sci., Hiroshima Univ.)

P-100 In vitro formation of hydroxylated S-containing PCB metabolites: Differences of animal species

○ Hiroaki Kuroki, Maiko Kawamura, Akifumi Yamada, Hitomi Nakai, Masumi Imoto, Akihisa Toda (Daiichi Col. Pharm. Sci.)

P-101 Maternal exposure to bisphenol A on brain development centering on X chromosome inactivation

○ Takayuki Kumamoto, Shigeru Oshio (Ohu Univ.)

P-102 Chemical contaminations derived from marine debris polystyrene

○ Akimitsu Nishino^{1a}, Koushirou koizumi^{1b}, Hideto Sato^{1b}, Akifumi Okabe^{1b}, Morikazu Yamamoto^{1c}, Seon-Yong Chung², Masahiko Nishimura³, Katsuhiko Saido^{1d}, (^{1a}Grad. Sch., ^{1b} Col. Sci. Technol., ^{1c} Col. Art, ^{1d} Sch. Pharm., Nihon Univ., ² Col. Eng., Chonnam Natl. Univ., ³ Atmosphere Ocean Res. Institute, Univ. Tokyo)

P-103 Effects of Asian sand dust particles on the respiratory and immune system

○ Yugo Matsuda¹, Akiko Honda¹, Rumiko Murayama¹, Kenshi Tsuji¹, Masataka Nishikawa², Eiko Koike², Seiichi Yoshida³, Takamichi Ichinose³, Hirohisa Takano¹ (¹Grad. Sch. Eng., Kyoto Univ., ²Natl. Inst. Environ. Stud., ³Oita Univ. Nurs. Health Sci.)

P-104 Monitoring results of total mercury in marine fishes in Aichi Prefecture (FY 1973-2012)

○ Haruka Ohno, Tomomi Inoue, Minae Watanabe, Eiji Ueno, Yoshitomo Ikai, Toshio Morishita (Aichi Pref. Inst. Public Health)

P-105 Degradation of pharmaceuticals in environment by Fe³⁺-H₂O₂ mixed reagent - Degradation of Tamiflu (oseltamivir phosphate) in waste water from hospitals -

○ Yoshiki Mino, Daiki Hayashi, Noriko Fujita, Takashi Azuma, Takaji Sato (Osaka Univ. Pharm. Sci.)

P-106 Involvement of ribose 5-phosphate in protection against arsenite toxicity

○ Tsutomu Takahashi, Shouhei Satake, Akira Naganuma (Grad. Sch. Pharm. Sci., Tohoku Univ.)

P-107 Determination of a metabolite of polycyclic aromatic hydrocarbon quinone derivatives in urine samples from Thai residents

○ Miki Asahi¹, Chiemi Hosozumi¹, Akira Toriba¹, Thaneeya Chetiyankornkul², Ning Tang³, Takayuki Kameda¹, Kazuichi Hayakawa¹ (¹Sch. Pharm., Kanazawa Univ., ²Fac. Sci., Chiang Mai Univ., Thailand, ³Hyogo Col. Med.)

P-108 Internal exposure to radionuclides from ingestion of cooked daily total diets in Japanese cities

○ Hideo Sugiyama¹, Hiroshi Terada², Michiko Koyano², Ikuyo Iijima³, Sadaaki Miyake⁴, Kimio Isomura⁵ (¹Teikyo Heisei Univ., ²Natl. Inst. Public Health, ³Kanagawa Pref. Inst. Public Health, ⁴Saitama Pref. Inst. Public Health, ⁵Hyogo Pref. Inst. Public Health Consumer Sci.)

P-109 Nanosilica particles-induced IL-1beta in Kupffer cells via purinergic signaling

○ Yusuke Negishi¹, Mitsutoshi Tsukimoto¹, Takato Takenouchi², Hiroshi Kitani², Hitoshi Harada³, Ken Takeda⁴, Shuji Kojima¹ (¹Div. Radiat. Biosci., Dept. Pharm. Sci., Tokyo Univ., ²Div. Animal Sci., NIAS, ³Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ., Med. Sci., ⁴Dept. Pharm. Sci., Tokyo Univ.)

P-110 Seasonal variation of chemical components contents in airborne particles collected at 3 sites in the coast of the Sea of Japan

Tomohiro Hasei¹, ○ Souleymane Coulibaly¹, Ryohei Takahashi¹, Kosuke Fujita¹, Akane Kishi¹, Mizuho Sakamoto¹, Motoki Matsui¹, Fumikazu Ikemori², Tetsuro Seiyama³, Mizuka Kido⁴, Nobuyuki Sera⁵, Kunihiro Funasaka⁶, Daichi Asakawa⁶, Keiji Wakabayashi^{1,7}, Masanari Watanabe⁸, Tetsushi Watanabe¹ (¹Kyoto Pharm. Univ., ²Nagoya City Inst. Environ. Sci., ³Tottori Pref. Inst. Public Health Environ., ⁴Toyama Pref. Environ. Sci. Res. Cent., ⁵Fukuoka Inst. Health Environ. Sci., ⁶Osaka City Inst. Public Health Environ. Sci., ⁷Univ. Shizuoka, ⁸Tottori Univ.)

P-111 Investigation of the TVOC components in indoor air

○ Toshiko Tanaka-Kagawa, Yoko Okamoto, Yoshiaki Ikarashi, Hideto Jinno (Natl. Inst. Health Sci.)

P-112 Alteration in gene expression in fetal placentas following to *in utero* exposure to N-EtFOSE

○ Susumu Ban, Satoshi Yokoyama, Michiyoshi Matsuoka, Yoshiko Satomi, Hitoshi Harada, Sumiko Inoue, Shiho Ohnishi, Shosuke Kawanishi (Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)

P-113 Effects of DEHP on allergic rhinitis of mice induced by OVA

○ Ichinose Takamichi¹, He Miao¹, Yoshida Seiichi¹, Hirohisa Takano² (¹Oita Univ. Nurs. Health Sci., ²Kyoto Univ.)

P-114 Radiocesium concentration of wild mushroom in Japan

○ Hiroshi Terada¹, Fumio Kato², Hisashi Shibata³, Jun Kobayashi⁴, Michiko Koyano¹, Hideo Sugiyama⁵ (¹ Natl. Inst. Public Health, ² Toho Univ., ³ Yamanashi Forestry and Forest Products Res. Inst., ⁴ Nippon Vet. Life Sci. Univ., ⁵ Teikyo Heisei Univ.)

P-115 Chemical contaminations derived from marine debris polystyrene and toxicity

○ Tsubasa Akiyama^{1a}, Hideto Sato^{1b}, Akifumi Okabe^{1b}, Kiyokau Yamamoto^{1b}, Sachio Togawa^{1b}, Wataru Miyazaki^{1b}, Seon-Yong Chung², Takashi Kusui³, Katsuhiko Saido^{1c} (^{1a} Graduate School, ^{1b} Col. Sci. Technol., ^{1c} Sch. Pharm., Nihon Univ., ² Col. Eng., Chonnam Natl. Univ., ³ Col. Technol., Toyama Pref. Univ.)

P-116 The investigation of indoor air pollution of the pharmaceutical dust in the pharmacy

○ Shizuko Maeda¹, Kazumi Sugihara¹, Yohei Nishitani¹, Yoshitaka Tayama¹, Takuya Sasaki², Masashi Mita², Toyohisa Tsukamoto¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Hiroshima Int. Univ., ²Owl Pharmacy, My Life Co., Ltd)

Carcinogens**P-117 Formation and metabolism of 4-(hydroxymethylnitrosamino)-1-(3-pyridyl)-1-butanone glucuronide in the mouse**

○ Takahito Nishiyama, Ai Kuriyama, Chika Miyamoto, Tomokazu Ohnuma, Kenichiro Ogura, Akira Hiratsuka (Sch. Pharm., Tokyo Univ. Pharm. Life Sci.)

P-118 Oxidative DNA damage induced by carcinogenic pyrogallol

○ Shiho Ohnishi, Taishi Tsuji, Hitoshi Harada, Yoshiko Satomi, Shosuke Kawanishi (Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)

P-119 Cellular nitrative DNA damage induced by carbon nanotube

○ Yusuke Hiraku¹, Feiye Guo¹, Ning Ma², Shosuke Kawanishi³, Mariko Murata¹ (¹Dept. Environ. Mol. Med., Mie Univ. Grad. Sch. Med., ²Fac. Health Sci. Suzuka Univ., Med. Sci., ³Fac. Pharm. Sci., Suzuka Univ. Med. Sci.)

Neural toxicity

- P-120 Establishment of a mouse model for behavioral and psychological symptoms of dementia by intracerebroventricular injection of amyloid β protein**
○ Kazuki Ide, Shunsuke Takada, Haruna Tamano, Naoto Oku, Atsushi Takeda (Grad. Sch. Pharm. Sci., Univ. Shizuoka)
- P-121 Mechanism of cellular response to rotenone-induced glutamate increase**
○ Tomomi Yamamoto¹, Yaichiro Kotake^{1,2}, Satoshi Adachi¹, Kouta Kouno², Shigeru Ohta^{1,2} (¹Fac. Pharm. Sci., Hiroshima Univ., ²Grad. Sch. Biomed. Health Sci., Hiroshima Univ.)
- P-122 *In vitro* and *in vivo* GluR2 reduction induced by long-term exposure of perfluorooctane sulfonate (PFOS)**
○ Yumi Tsuyama¹, Yaichiro Kotake^{1,2}, Chihiro Sugiyama¹, Tomoko Takishita², Seigo Sanoh^{1,2}, Shigeru Ohta^{1,2} (¹Fac. Pharm. Sci., Hiroshima Univ., ²Grad. Sch. Biomed. Health Sci., Hiroshima Univ.)
- P-123 Analysis of developmental toxicity of retinol and thalidomide on the brain using microarray with gene annotation**
○ Masakazu Umezawa¹, Yumi Suenari², Shinya Yanagita^{1,3}, Ken Tachibana^{1,2}, Ken Takeda^{1,2} (¹Cent. Environ. Sci. Next Gen., RIST, Tokyo Univ. Sci., ²Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci., ³Fac. Sci. Technol., Tokyo Univ. Sci.)
- P-124 Involvement of prostaglandin E2 in behavioral impairments induced by treatment of PolyI:C during neonatal period in mice**
○ Hirotake Hida¹, Akihiro Mouri¹, Tomoyuki Furuyashiki², Morihito Suzuki¹, Mayu Ukai¹, Masayuki Taniguchi¹, Kiyofumi Yamada³, Norio Ozaki⁴, Shuh Narumiya², Toshitaka Nabeshima¹, Yukihiro Noda¹ (¹Fac. Pharm., Meijo Univ., ²Dept. Pharm., Kyoto Univ. Grad. Sch. Med., ³Dept. Neuropsychopharm. Hosp. Pharm., Nagoya Univ. Grad. Sch. Med., ⁴Dept. Psychiatry, Nagoya Univ. Grad. Sch. Med.)

***P-125* Vulnerability to the rearing environmental changes plays a crucial role in the abnormal behaviors in mice**

Yurie Matsumoto^{1,2}, Minae Niwa^{1,2}, Akihiro Mouri¹, Norio Ozaki², Yukihiro Noda¹, Toshitaka Nabeshima¹ (¹ Fac. Pharm., Meijo Univ. ² Dept. Psychiatry, Nagoya Univ. Grad. Sch. Med.)

***P-126* Involvement of GLAST in the developmental neurotoxicity and modest neuropsychological deficits caused by inhibition of glutamate transporter**

○ Yukihiro Noda¹, Masayuki Taniguti¹, Hirotake Hida¹, Yukari Ogino¹, Mayu Ukai¹, Kiyofumi Yamada², Norio Ozaki³, Kohichi Tanaka⁴, Akihiro Mouri¹, Toshitaka Nabeshima¹ (¹Fac. Pharm., Meijo Univ., ²Dept. Neuropsychopharm. Hosp. Pharm., Nagoya Univ. Grad. Sch. Med., ³Dept. Psychiatry, Nagoya Univ. Grad. Sch. Med., ⁴Lab. Mol. Neuroscie. Sch. Biomed. Sci. Med. Res. Inst., Tokyo Med. Dent. Univ.)

***P-127* Involvement of BDNF in the psychological toxicity of MDMA**

○ Akihiro Mouri¹, Yukihiro Noda¹, Yurie Matsumoto¹, Minae Niwa¹, Atsumi Nitta², Kiyofumi Yamada³, Shouei Furukawa⁴, Toshitaka Nabeshima¹ (¹Fac. Pharm., Meijo Univ., ²Fac. Pharm. Sci., Grad. Sch. Med. Pharm. Sci., Univ. Toyama, ³Dept. Neuropsychopharm. Hosp. Pharm., Nagoya Univ. Grad. Sch. Med., ⁴Gifu Pharm. Univ.)

***P-128* Changes in enzymatic detoxification system by phenobarbital in rat brain - Induction of UDP-glucuronosyltransferase -**

○ Yukiko Sakakibara, Miki Katoh, Yuya Kondoh, Masayuki Nadai (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

***P-129* Effects of antihistamines on psychomotor function in healthy volunteers**

○ Hiroyuki Kamei¹, Manako Han-ya¹, Yukihiro Noda¹, Kazuhiro Ishikawa², Koji Senzaki², Kiyofumi Yamada², Toshitaka Nabeshima¹ (¹Fac. Pharm., Meijo Univ., ² Dept. Neuropsychopharmacol. Hosp. Pharm., Nagoya Univ. Grad. Sch. Med.)

***P-130* Cholecystokinin system attenuates psychological stress-induced emotional deficits**

○ Takayoshi Mamiya, Genki Ohashi, Yuki Tsuruoka, Yoshitaka Miyamura, Takenao Koseki, Akihiro Mouri, Toshitaka Nabeshima, Masayuki Hiramatsu (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

Endocrine-disrupting chemicals

**P-131 The effect of maternal exposure to dioxins on pituitary hormones:
A comparative study between different dioxins and animal species**

○ Junki Taura¹, Tomoki Takeda¹, Misaki Fujii¹, Yuji Ishii¹, Kiyomi Tsukimori², Hiroshi Uchi³, Hiroaki Kuroki⁴, Masutaka Furue³, Hideyuki Yamada¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyushu Univ., ²Fukuoka Children's Hosp., ³Kyushu Univ. Hosp., ⁴Daiichi Col. Pharm. Sci.)

P-132 Metabolism of 2,2',4,5'-tetrabromobiphenyl (BB49) by animals and human liver microsomes

○ Akifumi Yamada, Hitomi Nakai, Hitomi Nakamura, Akihisa Toda, Masumi Imoto, Hiroaki Kuroki (Daiichi Col. Pharm. Sci.)

P-133 Effect of thiamine on the disruption of fetal steroidogenesis caused by maternal exposure to 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-*p*-dioxin

○ Akihisa Fujiki, Takayuki Koga, Tomoki Takeda, Yuji Ishii, Hideyuki Yamada (Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyushu Univ.)

P-134 Effect of *in utero* exposure to endocrine disruptors on the fetal pituitary-gonadal axis

○ Tomoki Takeda, Yudai Kariyazono, Junki Taura, Yuji Ishii, Hideyuki Yamada (Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyushu Univ.)

P-135 A mechanism underlying the dioxin-produced retardation of growth: An analysis focusing on a reduction in growth hormone, thyroid hormone and glucocorticoid in fetuses and infants

○ Yukiko Hattori, Tomoki Takeda, Misaki Fujii, Yuji Ishii, Hideyuki Yamada (Fac. Pharm. Sci., Kyushu Univ.)

P-136 The effect of dioxin on the hepatic metabolome in male pubertal rats: The accumulation of leukotriene B4 and its mechanism

○ Yukiko Komiya¹, Akihiko Koba¹, Tomoki Takeda¹, Takayuki Koga¹, Yuji Ishii¹, Yasushi Kikuta², Hiroshi Uchi³, Masutaka Furue³, Hideyuki Yamada¹ (¹Fac. Pharm. Sci., Kyushu Univ., ²Fac. Life Sci. Biotech., Fukuyama Univ., ³Kyushu Univ. Hosp.)

P-137 *In vitro* and *in vivo* assay of environmental chemicals for thyroid hormone disruption

○ Kana Matsubara¹, Naoki Nakamura¹, Seigo Sanoh^{1,2}, Kazumi Sugihara³, Naoto Uramaru⁴, Shigeyuki Kitamura⁴, Shinichi Miyagawa⁵, Taisen Iguchi⁵, Nariaki Fujimoto⁶, Shigeru Ohta^{1,2} (¹Fac. Pharm. Sci., Hiroshima Univ., ²Grad. Sch. Biomed. Sci., Hiroshima Univ., ³Fac. Pharm. Sci., Hiroshima Int. Univ., ⁴Nihon Pharm. Univ. ⁵Okazaki Inst. Int. Biosci., N.I.N.S., ⁶R.I.R.B.M., Hiroshima Univ.)

P-138 Exposure of diethylstilbestrol to pregnant mice causes its fetal accumulation and subsequently disrupts estrogenic signaling in the fetus

○ Tatsuya Matsuda, Hiroshi Yoshikawa, Yasushi Nishioka, Tsuyoshi Nakanishi, Hisamitsu Nagase (Gifu Pharm. Univ.)

P-139 Organotin compounds promote progesterone production in human placenta

○ Youhei Hiromori^{1,2}, Hiroki Yui², Tsuyoshi Nakanishi², Hisamitsu Nagase² (¹ Col. Pharm., Kinjo Gakuin Univ., ² Gifu Pharm. Univ.)

P-140 A major marijuana constituent Δ^9 -THC-mediated endocrine disruption: A new mechanism via ER β , a second estrogen receptor

○ Kazutaka Yoshida¹, Shuso Takeda¹, Hajime Nishimura¹, Mari Harada¹, Hiroko Miyoshi¹, Shunsuke Okajima¹, Kazuhito Watanabe², Hironori Aramaki¹ (¹Daiichi Univ. Pharm, ²Hokuriku Univ. Pharm.)

Preventive pharmacology

P-141 Relationship between the cellular glutathione and the suppression of human lung cancer A549 cell growth induced by selenium compounds

○ Tomofumi Okuno, Haruki Hoshide, Eri Honda, Ayumi Kitagaki, Hirofumi Ogino, Tomohiro Arakawa, Hitoshi Ueno (Fac. Pharm. Sci., Setsunan Univ.)

P-142 Quercetin suppresses interleukin-induced bone resorption

○ Hiroyuki Kaneki, Michiaki Kiri, Koichi Hatori, Ayumi Yoshimura, Kirie Wakabayashi, Hayao Ide (Sch. Pharm. Sci., Toho Univ.)

***P-143* Survey on relationship between lifestyle and physical fitness checks of university students**

○ Hisato Tominaga¹, Kazunori Sagawa², Fumihiko Ogata¹, Naohito Kawasaki^{1,2}
(¹Dept. Public Health, Fac. Pharm., Kinki Univ., ²Antiaging Cent., Kinki Univ.)

***P-144* Changes in expression of differentiation marker proteins in human epidermal cells treated with retinoids**

○ Yu Komori, Yuichi Sasaki, Noriko Takahashi (Inst. Med. Chem., Hoshi Univ.)

***P-145* Suppressive effect of selenomethionine in contact hypersensitivity**

○ Tomohiro Arakawa, Shizuka Nakayama, Yurie Yoshii, Hirofumi Ogino, Tomofumi Okuno, Hitoshi Ueno (Fac. Pharm. Sci., Setsunan Univ.)

***P-146* Linoleic acid hydroperoxides inhibit platelet arachidonic acid metabolism**

○ Takuya Sujihara, Tetsuya Kohda, Satoru Sakuma, Yohko Fujimoto (Osaka Univ. Pharm. Sci.)

***P-147* Effect of antipsychotic drugs on the differentiation of 3T3-L1 preadipocytes into mature adipocytes**

○ Tetsuya Kohda, Maki Sumida, Satoru Sakuma, Yohko Fujimoto (Osaka Univ. Pharm. Sci.)

Analytical chemistry

***P-148* Determination of aristolochic acids by gas-chromatography mass spectrometry and its application**

○ Asami Yamada¹, Koichi Haraguchi¹, Chiho Ohta², Nobuyuki Koga², Tetsuya Endo³, Kouji H Harada⁴, Akio Koizumi⁴ (¹Daiichi Col. Pharm. Sci., ²Nakamura Gakuen Univ., ³Pharm. Sci. Health Sci. Univ. Hokkaido, ⁴Kyoto Univ. Grad. Sch. Med.)

***P-149* Phenotype analysis of CYP2C9 isozymes using fluorine-substituted tolbutamide analogs**

○ Kenichi Saeki¹, Eriko Kojima², Kazuto Isuzugawa², Hajime Komatsu², Kazunori Kimura³ (¹Col. Pharm., Kinjo Gakuin Univ., ²Yokohama Col. Pharm., ³Grad. Sch. Pharm. Sci., Nagoya City Univ.)

P-150 A study on detection of drugs in slimming health foods

○ Shinya Yamamoto^{1,4}, Yuuichi Kondou¹, Shigeharu Sumioka², Masanobu Fujioka², Takashi Tanahashi³, Eiichi Mikami³, Ken-ichi Miyamoto⁴ (¹Toyohashi City Public Health Cent. Inst. Public Health, ²Toyohashi City Public Health Cent., ³Aichi Pref. Inst. Public Health, ⁴Dept. Med. Info., Grad. Sch. Med., Kanazawa Univ.)

P-151 Development of sensitive analytical method for catechins using HPLC-FD

○ Tomohiro Kishi¹, Eriko Doi¹, Chiho Yasunaga¹, Yuya Deguchi¹, Megumi Hamano-Nagaoka², Hiroaki Nagaoka¹ (¹Fac. Pharm, Sci., Nagasaki Int. Univ., ²Natl. Inst. Health Sci.)

P-152 Development of analytical method for determination of daptomycin in biological samples

○ Motozumi Ando¹, Noriaki Kitada², Shoji Fukushima¹, Tohru Hashida² (¹Sch. Pharm. Sci., Kobe Gakuin Univ., ²Dept. Pharm., Kobe City Med. Cent. General Hosp.)

P-153 GC/MS analysis of alfa-PVP

○ Kenji Tsujikawa, Yukiko Nakazono, Kenji Kuwayama, Tatsuyuki Kanamori, Yuko T. Iwata, Hiroyuki Inoue (Natl. Res. Inst. Police Sci.)

Others**P-154 Resistance of ovarian cancer cells against anticancer platinum complexes and influence of ligands**

○ Yoshinori Jo, Kengo Usui, Kaori Hayashi, Akemi Murase, Koji Ueda, Yoshinori Okamoto, Nakao Kojima (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

P-155 Manganese neurotoxicity: Interactive effects with iron in catecholamine oxidation and reactive oxygen species production

○ Koji Ueda, Saori Takeda, Yuma Hoshino, Yoshinori Okamoto, Nakao Kojima (Fac. Pharm., Meijo Univ.)

P-156 Microbiological monitoring in the international space station - KIBO by adhesive sheet sampling

○ Nobuyasu Yamaguchi, Hatsuki Hieda, Rie Ishihara, Tomoaki Ichijo, Masao Nasu (Grad. Sch. Pharm. Sci., Osaka Univ.)

***P-157* Effect of surface modification on hepatic injury induced by synergistic effects of polystyrene nanoparticles with chemicals**

○ Takeshi Nozawa, Katsuhiko Isoda, Toshihoro Yamamoto, Yosimi Shimizu, Masakatsu Tezuka, Isao Ishida (Fac. Pharm., Teikyo Heisei Univ.)

***P-158* Analysis of genome-wide DNA methylation profiles in mice exposed to diesel exhaust during fetal period**

○ Ayame Akimoto¹, Ken Tachibana^{1,2}, Kohei Takayanagi¹, Koji Ueda¹, Yusuke Shinkai¹, Ken Takeda^{1,2} (¹Fac. Pharm. Sci., Tokyo Univ. Sci. ²Cent. Environ. Health Sci. Next Generation, RIST, Tokyo Univ. Sci.)

***P-159* Chick embryotoxicity evaluation of 60 kHz, intermediate frequency magnetic field**

○ Izumi Nishimura, Tadashi Negishi (Environ. Sci. Res. Lab., CRIEPI.)

***P-160* Speciation of serum selenoproteins in rodents**

○ Yasumi Anan, Yoshiko Hatakeyama, Maki Tokumoto, Yasumitsu Ogra (Showa Pharm. Univ.)

***P-161* Abundance of nontuberculous mycobacteria in residential environment and river water**

○ Tomoaki Ichijo¹, Sayuri Nakamoto¹, Mari Sugata², Nobuyasu Yamaguchi¹, Masao Nasu¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Osaka Univ. ²Sch. Pharm. Sci., Osaka Univ.)

***P-162* Monitoring of airborne bacteria in living environments**

○ Takashi Baba, Makiko Kodama, Jonguk Park, Nobuyasu Yamaguchi, Masao Nasu (Grad. Sch. Pharm. Sci., Osaka Univ.)

***P-163* Inhibition of cell migration by amorphous nano silica**

○ Maiko Ohta¹, Akira Onodera¹, Ai Housho¹, Aki Honma¹, Yukina Ishii¹, Takuya Furuta¹, Shigenobu Yonemura², Yasuo Tsutsumi³, Yuichi Kawai¹ (¹ Fac. Pharm. Sci., Kobegakuin Univ., ² Riken CDB., ³ Grad. Sch. Pharm. Sci., Osaka Univ.)

P-164 Comparison between bone scintigraphy and FDG-PET using a bone metastasis animal model

○ Kazuma Ogawa¹, Mikako Ogawa², Kohshin Washiyama¹, Yasuhiro Magata²
(¹Col. Med., Pharm. Health Sci., Kanazawa Univ., ²Med. Photonics Res. Cent., Hamamatsu Univ. Sch. Med.)

P-165 Characteristic oxidation behavior of β -cyclocitral from *Microcystis*

○ Masateru Hasegawa¹, Suzue Arii², Kiyomi Tsuji³, Hirohiko Asukabe², Kouji Tomita⁴, Yoshitomo Ikai⁴, Ken-ichi Harada^{1,2} (¹Grad. Sch. Environ. Human Sci., Meijo Univ., ²Fac. Pharm., Meijo Univ., ³Kanagawa Pref. Inst. Public Health, ⁴Aichi Pref. Inst. Public Health)

P-166 Development of a novel profiling method for genomic DNA methylation frequencies “MSD-AFLP”

○ Toshiki Aiba¹, Toshiyuki Saito², Chiharu Tohyama¹, Hisaka Kurita¹, Ohsako Seiichiroh¹ (¹ Univ. Tokyo, ² Natl. Inst. Radiol. Sci.)

P-167 Effects of 4-chlorotetrazolo[1,5-*a*]quinoxaline on mast cell activation and IgE-mediated anaphylaxis in mice

Young Mi Kim¹, Ki Hwa Chung¹, Hyuk Soon Kim², Do Kyun Kim², A-Ram Kim², Wahn Soo Choi² (¹Col. Pharm., Duksung Women's Univ., ²Dept. Immunol., Col. Med., Konkuk Univ.)

P-168 Effects of *Ecklonia stolonifera* on acute alcohol-induced hepatotoxicity in mice

Chae Young Bang¹, Jung Hwan Kang², Jae Su Choi³, Se Young Choung^{1,2}
(¹Dept. Prev. Pharm. Toxicol., Col. Pharm., Kyung Hee Univ., ²Dept. Life Nanopharm. Sci. Pharm., Kyung Hee Univ., ³Dept. Food Sci. Nutr., Pukyong Natl. Univ.)

P-169 Effect of oyster hydrolysate on blood pressure in stroke-prone spontaneously hypertensive rats (SHRSPs)

Chae Young Bang¹, Eun-Hyeong Shim², Andre Kim³, Jong-Myung Ha³, Young Jun Choi⁴, Se Young Choung^{1,2†} (¹Dept. Prev. Pharm. Toxicol., Col. Pharm., Kyung Hee Univ., ²Dept. Life Nanopharm. Sci. Pharm., Kyung Hee Univ., ³Dept. Pharm. Eng., Col. Med. Life Sci., Silla Univ., ⁴Dept. Seafood Sci. Technol., Inst. Marine Industry, Gyeongsang Natl. Univ.,)

- P-170 Gastric protection and anti-gastric cancer activity of catechin isolated from the root cortex of *Paeonia suffruticosa***
○ Joohee Jung, In Young Hwang, Choon-Sik Jeong (Col. Pharm. Duksung Women's Univ.)
- P-171 Assessment of metabolism-dependent cytochrome P450 inhibition**
Ji-Yoon Lee, Sang Yoon Lee, Jang-soo Jeon, Bong Hee Kim, Sang Kyum Kim (Col. Pharm., Chungnam Natl. Univ.)
- P-172 Expression of antioxidant enzymes during estrous cycle in rat liver and ovary**
Sang Yoon Lee, Ji-Yoon Lee, Jang-soo Jeon, Bong Hee Kim, Sang Kyum Kim (Col. Pharm., Chungnam Natl. Univ.)
- P-173 Effects of palmitic acid on TNF- α -induced cytotoxicity in SK-Hep-1 cells**
Jung-Min Oh, Bong-Hee Kim, Sang-Kyum Kim (Col. Pharm., Chungnam Natl. Univ.)
- P-174 Immunomodulatory activity of the fructus of *Magnolia denudate***
Myoung-Yun Pyo¹, Soo-jeong Yoon¹, Soon-Rye Kim¹, Hwa-Hyun Jeong¹, Suk-kyung Ko², Mirim Jin³, Mihi Yang¹ (¹Col. Pharm., Sookmyung Women's Univ., ²Seoul Metropolitan Gov. Res. Inst. Public Health Environ., ³Col. Oriental Med., Daejeon Univ.)
- P-175 Antioxidative and epigenetic effects of blueberry (*Vaccinium corymbosum*) in human**
○ Myoung-yun Pyo, Mihi Yang (Col. Pharm., Sookmyung Women's Univ.)
- P-176 Combined 5-FU and WK5, herbal immune-stimulator synergistically increased antitumor activity**
Bindu Malla, Bo Yoon Chang, Sung Yeon Kim (Col. Pharm., Wonkwang Univ.)
- P-177 Disclosure of new effects in Kudzu vine**
Eunbyeol Han, Sung Yeon Kim (Col. Pharm., Wonkwang Univ.)
- P-178 New strategy for infectious diseases according to climate change**
Bo Yoon Chang, Sung Yeon Kim (Col. Pharm., Wonkwang Univ.)

P-179* EW-7197, a novel ALK5 inhibitor inhibited lung metastasis of breast cancer cells both *in vitro* and mouse model *in vivo

Kim Seung W, Kim Sol J, Park Sang A, Kim Min J, Son Jee Y, Kim Dae-Kee, Sheen Yhun Yhong (Ewha Womans Univ., Col. Pharm.)

***P-180* Acceleration of liver regeneration by betaine administration via its effect on hepatic transsulfuration reactions**

○ Chul Won Ahn, Doo Sung Jun, Young Suk Jung, Sun Ju Kim, Young Chul Kim (Col. Pharm., Seoul Natl. Univ.)

Banquet

October 25 (Thu) 18 : 30 ~ 20 : 30

Site Nagoya Kanko Hotel
3rd Floor Main Banquet Hall "NAGO-West"

Scientific Award Ceremony

Active Research Award and Kanehara Award Ceremony

Presentation of Young Investigator Award Winners
and Conferment Ceremony

Presentation of Cheaf Organizer Award Winners
and Conferment Ceremony

Presentation of Specialty Section Student Award Winners
and Conferment Ceremony